

**武蔵野市生涯学習施策
(図書館)
に関するアンケート調査
報告書**

平成 30 年 2 月

武蔵野市教育委員会

図 書 館

目次

1. 調査の概要

1-1. 実施概要	1
1-2. 主な調査結果	2

2. 調査結果

2-1. 回答者の属性	5
2-2. 読書状況や図書・資料入手の方法	10
2-3. 図書館の利用状況	21
2-4. 市立図書館のあり方について	31

3. 調査票	46
--------	----

1. 調査の概要

1-1. 実施概要

(1) 調査の目的

武蔵野市図書館基本計画改定の基礎資料として、市民の武蔵野市立図書館に関する意見を把握し、今後実施する基本計画改定に活かすことを目的とした。

(2) 調査の対象

武蔵野市内在住の満 15 歳以上の男女 2,000 名

(3) 調査の期間

平成 29 年 10 月 10 日～20 日（11 日間）

(4) 調査の手法

対象者の無作為抽出、郵送による無記名アンケート

(5) 回収数・回収率

配布数 2,000 回収数 557 有効回収数 540 有効回収率 27.0%

※有効回収数は、集計値に反映した票数。なお、自由記述についてのみ、回収票数全て（557 票）を対象として整理した。

(6) その他

- 各設問に対し、まず全体的な結果を示し、その次に性別・年代別等クロス集計結果で傾向を示す点を記述した。また、回答の状況をグラフ化し、全体の次に性別と年代別の回答状況を記した。
- 各設問の選択肢が長い場合は、グラフの選択肢を表記上省略して掲載している場合がある。各設問の選択肢の詳細については、巻末の調査票を参照のこと。
- 各回答のグラフは、各設問の回答者数（件数）を基数として%で示している。また、割合は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位で表示しており、端数の関係で合計が100%にならない場合がある。ただし、複数回答可の設問では、回答が回答者全体に対しての比率であるため、各割合の合計は100%を超える。
- 本文中に地区別の結果分析を記載した箇所がある。その際に用いた地区分けは以下のとおりである。
 - ①東部（吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町）
 - ②中部（吉祥寺北町、中町、西久保、緑町、八幡町）
 - ③西部（関前、境、境南町、桜堤）
- 本文中の分析において、全体結果の数値から増減が大きいもの（±10%）について、個別に考察している項目がある。

1-2. 主な調査結果

▶月に1冊以上本を読んでいる割合は82.3%、雑誌は63.1%

- ・月に1冊以上本を読んでいる割合（マンガ、電子書籍を含む）は82.3%と高かった。ただし、10歳代、20歳代では「ほとんど読まない」という回答が30%を越えており、若年層の読書状況に課題がある。
- ・雑誌を月に1冊以上読んでいる割合は63.1%と本に比して低かった。年代的には30歳代、40歳代、職業的には、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイトで読書率が低く、働き盛りの年代で雑誌離れが目立つ。

▶書籍の入手・利用方法で図書館という回答は44.1%、雑誌では26.7%

- ・書籍、雑誌どちらも、図書館は入手方法において「書店・コンビニ・ネットなどで購入する」に次ぐ2位となっている。
- ・一方、電子書籍サービスの利用については、書籍で7.4%、雑誌で5.6%であった。増加傾向であるものの、まだ主要な手段とまではなっていないことが分かった。ただし、20歳代では書籍を電子書籍サービスで利用する割合が27.3%、30歳代では22.8%にまで上昇しており、年齢層によっては決して無視出来ない状況であることが認められた。

▶調べものの基本はインターネット（83.3%）

- ・何か調べる時の手段は「インターネットで調べる」の83.3%が、「図書館で調べる」8.5%、「本や雑誌を購入して調べる」7.6%を大幅に上回っていた。年齢が上がるほど差は縮まるが、80歳以上でも、「インターネットで調べる」が1位だった。
- ・インターネットの利用率自体も、全体で86.5%、10歳代から40歳代までは100%となっており、ほぼ全世代で利用が確立していた。利用端末は、50歳代まではスマートフォン中心、60歳代以上ではパソコン中心であった。

▶全体の33.7%、20歳代の78.8%、30歳代の62.0%で電子書籍経験あり

- ・有料および無料双方を合わせた電子書籍の利用経験は、全年代では33.7%に達していた。特に20歳代では、有料での購入経験が36.4%、無料を含めると78.8%が経験ありとなっており、完全に普及段階に入っている状況が認められた。
- ・図書館での電子書籍貸出については、「利用したい」21.3%、「方式や品揃えによっては利用したい」34.8%の計56.1%で利用意向があった。年代別では10歳代から50歳代まで利用意向の計が60%を超えており、特に20歳代では「利用したい」39.4%、「方式や品揃えによっては利用したい」45.5%の合わせて84.9%が利用意向を示していた。このことから、電子書籍サービスの導入検討を図るべき時期が来ていると考えられる。
- ・図書館の電子書籍サービスについては、40.3%が「スマートフォン」、35.3%が「タブレット端末」での提供を望んでいた。また、希望のジャンルとしては「予約が多くなかなか借りられない小説」が多く、ついで「実用書」となっていた。

▶武蔵野市立図書館の利用率は63.3%

- ・過去1年間に「利用した」が63.3%と全体の3分の2近くとなっていた。全年代平均より利用率が少ない年代は60歳代以上であった。利用率が高い性別では女性で、職業別では大学・大学院・各種学校・専門学校生と家事専業であった。
- ・利用していない理由は、「本や雑誌は購入して読んでいるから」が46.0%と最も多く、少し離れて「図書館を利用する時間がないから」20.2%、「本や雑誌をあまり読まないから」19.7%、「本を返すのが面倒だから」18.7%等と続いている。30歳代で「子どもを連れて行きにくい」という回答が13.0%と比較的多かった。
- ・利用している図書館は、「中央図書館」が40.1%と最も多く、ついで「武蔵野プレイス」37.7%、「吉祥寺図書館」21.3%となっていた。地区別では、東部で「吉祥寺図書館」、中部で「中央図書館」、西部で「武蔵野プレイス」が多く、近隣の館の利用が多くなっていた。
- ・利用目的は「本・雑誌・視聴覚資料を借りるため」が69.3%で最も多く、ついで「本・雑誌・新聞を読んだり、視聴覚資料を視聴するため」の38.9%となった。10歳代では「勉強をするため」、30歳代・40歳代では「子どもと一緒に本を読むため」、50歳代では「仕事や活動のための調べ物をするため」が多かった。
- ・利用頻度は、「2週間に1回くらい」31.0%、「1ヶ月に1回くらい」24.0%、「週に1～2回くらい」14.3%、「ほぼ毎日」1.2%となっており、70.5%が月1回以上利用していた。曜日は「主に平日」が42.1%、「主に週末・休日」が24.3%、「特に決まっていない」が30.4%であった。
- ・利用時間帯は「午後（12時～午後5時）」が53.5%で最も多く、ついで「午前中（午前9時30分～12時）」の26.3%、「特に決まっていない」18.1%となった。

▶図書館の満足度は87.4%

- ・全体では「満足」38.9%、「やや満足」48.5%合わせて計87.4%となった。地区別では東部の居住者の、また、主に利用する市立図書館では吉祥寺図書館の満足度が低かった。

▶武蔵野市以外の市立・区立図書館の利用率は8.7%

- ・市立図書館以外で利用している図書館としては、「武蔵野市以外の市立・区立図書館」が8.7%、「勤務先や通学先の学校・大学の図書館や図書室」が7.0%となった。
- ・「武蔵野市以外の市立・区立図書館」のうち「三鷹市」が34.0%と多く、ついで「杉並区」の21.3%、「西東京市」の17.0%と続いた。

▶40歳代以下の図書館利用層では各種サービスの認知率が高い

- ・サービスの認知が最も高いのは「本の貸出の予約・リクエストサービス」の74.8%で、ついで「視聴覚資料の視聴・貸出サービス」の64.6%、「一般向け行事」の45.9%、「児童サービス」の44.3%と続いた。
- ・年齢別では40歳代以下、職業では高校生の各利用層で相対的にサービスの認知が高かった。

▶充実してもらいたいのは「小説・エッセイの新刊」と「実用書」

- ・充実してもらいたい蔵書、資料としては「小説、エッセイなどの新刊本」が37.6%と多く、ついで「新刊雑誌」15.6%、「実用書」15.6%、「専門書」14.3%、「視聴覚資料」12.6%などと続いた。
- ・各年代等で回答が多かったジャンルは10歳代と高校生で「小説、エッセイなどの新刊本」、「ヤングアダルト向け図書」、20歳代と大学・大学院・各種学校・専門学校生で「新刊雑誌」、「専門書」、30歳代と家事専業で「児童書、絵本」、80歳以上で「辞典・事典・地図・年表・便覧・新聞の縮刷版などの調べ物のための図書」であった。

▶スペースの拡充と図書サービスの利便性アップを求める声が多い

- ・今後充実して欲しいサービスは、スペースの拡充（「ゆっくり閲覧したり、勉強、仕事などができる座席やスペースの拡充」32.8%、「飲食ができるスペースなどの拡充」20.0%）と図書サービスの利便性アップ（「蔵書・資料の点数の拡大」24.8%、「貸出期間の延長」21.5%、「図書館以外の身近な施設での貸出返却や郵送での返却サービス」20.6%）であった。
- ・10歳代、20歳代、高校生、大学・大学院・各種学校・専門学校生で「持ち込んだパソコン用に使えるWi-Fiや電源の整備」という回答が共通して多かった。また、「夜間開館時間を延ばす」と「飲食ができるスペースなどの拡充」は、10歳代、高校生、大学・大学院・各種学校・専門学校生で多くなっている。一方、「小さな子どもを連れて行っても周囲に気を使わなくて済むスペースの拡充」については、30歳代で回答が多かった。

▶今後の図書館の方向性として、本の充実が多かった

- ・市立図書館の今後の方向性としては、「A.本を借りたり、くつろいで本を読んだりすることができる、本好きのための居場所」への肯定的意見が87.6%と最も高く、ついで「C.地域活動や各種の市民活動の拠点として、また中学生や高校生が学校外で集まれる場所として地域の核になるような施設」55.2%、「B.暮らしの中で困ったこと、相談したいことがあった時、必要な情報や相談先を教えてくれる問題解決の場所」45.1%、「D.起業をしたり、キャリアアップをしたり、職場の問題や経営改善をしたりする時に情報支援を受けられたり、相談ができるビジネス支援の機関」26.1%となった。

▶ボランティアをやってもいいという割合は48.2%

- ・「やってみたい」6.7%、「内容によってはやってみたい」41.5%とやってみたいが合わせて48.2%になっており、「やりたいとは思わない」の48.0%とほぼ拮抗していた。年齢別では60歳代まで、性別では、男性より女性の方がやってみたいという人が多かった。職業別では、高校生を筆頭に、大学・大学院・各種学校・専門学校生でやってみたいという人が多く、無職では少なかった。
- ・内容としては「返本や書架の整理・修繕」が50.0%と最も多く、ついで「市民から提供された本のリサイクル」25.8%、「児童に向けての催しものの企画・運営」24.6%と続いた。

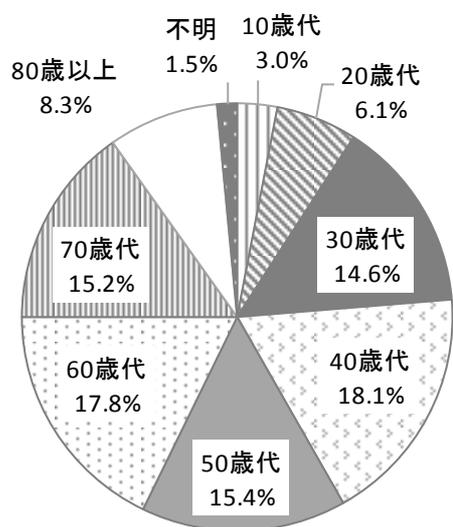
2. 調査結果

2-1. 回答者の属性

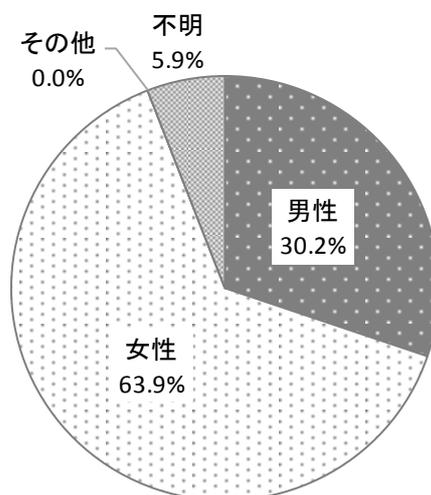
(1) 年齢 (2) 性別

年齢では30歳代から70歳代までの各年代が万遍なく回答があったほか、10歳代・20歳代の若年層は9.1%と少なかった。また、性別では、男性が30.2%、女性が63.9%とかなり女性比率が多い結果となった。

性別とのクロスで見ると、男性では60歳代、女性では40歳代が多かった。また、居住地区別では、中部で40歳代が、西部で60歳代が多かった。



(N=540)



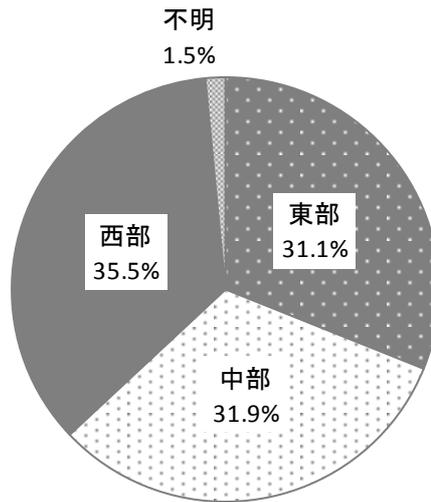
(N=540)

		N	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	(%)
	全体	540	3.0	6.1	14.6	18.1	15.4	17.8	15.2	8.3	1.5	
性別	男性	163	3.7	4.3	14.7	14.1	16.6	23.3	13.5	9.8	0.0	
	女性	345	2.6	7.2	15.1	20.9	15.9	16.5	15.7	6.1	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地区	東部	168	3.6	6.5	14.9	17.3	16.7	16.1	16.7	8.3	0.0	
	中部	172	2.9	5.2	16.9	23.3	11.0	16.3	16.3	8.1	0.0	
	西部	192	2.6	6.8	13.0	15.1	18.8	21.4	13.5	8.9	0.0	

(3) 居住地

居住地区は、東部（吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町）が31.1%、中部（吉祥寺北町、中町、西久保、緑町、八幡町）が31.9%、西部（関前、境、境南町、桜堤）が35.5%となっており、ほぼ3分されていた。

町別では、「吉祥寺南町」が12.0%と最も多く、ついで「境」10.7%、「吉祥寺東町」10.0%等と続いたが、あまり有意な差はみられなかった。



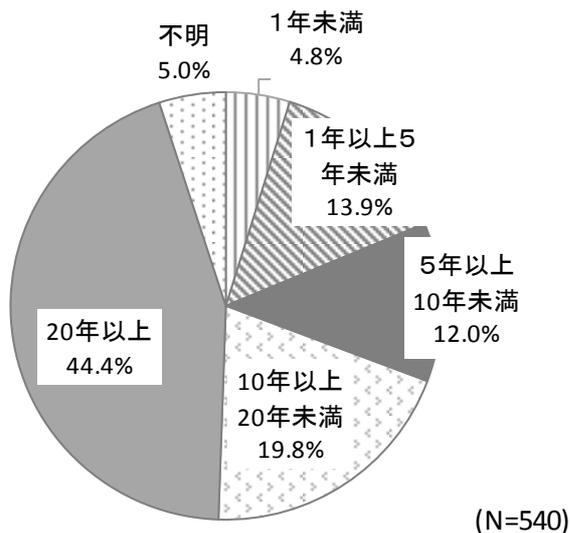
(N=540)

		東部 (全体:31.1%)				中部 (全体:31.9%)				西部 (全体:35.5%)				不明		
		吉祥寺東町	吉祥寺南町	御殿山	吉祥寺本町	吉祥寺北町	中町	西久保	緑町	八幡町	関前	境	境南町	桜堤	不明	
N		10.0	12.0	4.3	4.8	7.8	6.9	3.9	3.5	9.8	9.1	10.7	8.5	7.2	1.5	
年齢	全体	540	10.0	12.0	4.3	4.8	7.8	6.9	3.9	3.5	9.8	9.1	10.7	8.5	7.2	1.5
	10歳代	16	6.3	18.8	12.5	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	6.3	6.3	0.0
	20歳代	33	18.2	6.1	9.1	0.0	0.0	3.0	0.0	6.1	18.2	6.1	12.1	18.2	3.0	0.0
	30歳代	79	10.1	11.4	3.8	6.3	10.1	6.3	1.3	1.3	17.7	6.3	10.1	8.9	6.3	0.0
	40歳代	98	9.2	11.2	2.0	7.1	13.3	6.1	9.2	3.1	9.2	4.1	11.2	7.1	7.1	0.0
	50歳代	83	14.5	9.6	4.8	4.8	4.8	7.2	0.0	3.6	7.2	9.6	10.8	10.8	12.0	0.0
	60歳代	96	5.2	13.5	6.3	3.1	6.3	7.3	3.1	4.2	8.3	13.5	10.4	7.3	11.5	0.0
	70歳代	82	11.0	17.1	2.4	3.7	6.1	7.3	8.5	2.4	9.8	9.8	11.0	8.5	2.4	0.0
80歳以上	45	8.9	11.1	2.2	8.9	4.4	11.1	2.2	8.9	4.4	13.3	15.6	4.4	4.4	0.0	
性別	男性	163	11.0	12.3	0.6	4.3	9.8	4.9	1.2	4.3	11.0	11.7	10.4	11.7	6.7	0.0
	女性	345	9.3	11.6	6.4	5.2	7.2	7.5	5.2	3.5	9.9	7.8	11.3	7.5	7.5	0.0

(4) 居住年数

居住年数では「20年以上」が44.4%と最も多く、ついで「10年以上20年未満」19.8%となり、比較的居住年数の長い方からの回答が多かった。「5年以上10年未満」(12.0%)と「1年以上5年未満」(13.9%)は大きく変わらず、「1年未満」は4.8%に止まった。

年齢が上がるほど、居住年数も長くなる傾向がみられた。一方、性別で有意な差はみられなかった。

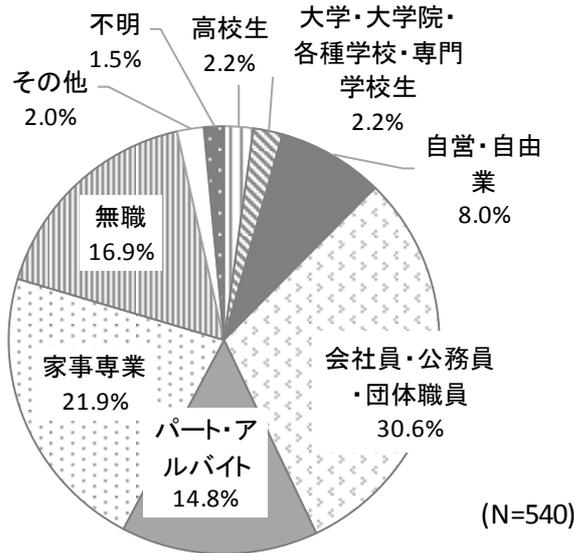


		N	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	不明
全体		540	4.8	13.9	12.0	19.8	44.4	5.0
年齢	10歳代	16	0.0	0.0	18.8	75.0	0.0	6.3
	20歳代	33	24.2	27.3	9.1	6.1	27.3	6.1
	30歳代	79	7.6	27.8	31.6	13.9	16.5	2.5
	40歳代	98	6.1	22.4	18.4	33.7	16.3	3.1
	50歳代	83	4.8	10.8	6.0	28.9	45.8	3.6
	60歳代	96	2.1	9.4	6.3	11.5	68.8	2.1
	70歳代	82	0.0	1.2	6.1	14.6	74.4	3.7
	80歳以上	45	0.0	6.7	0.0	4.4	82.2	6.7
性別	男性	163	4.3	11.0	14.1	20.2	46.6	3.7
	女性	345	5.5	16.2	11.3	20.6	42.9	3.5

(5) 職業

「会社員・公務員・団体職員」が30.6%で最も多く、ついで「家事専業」の21.9%、「パート・アルバイト」の14.8%と続き、「高校生」、「大学・大学院・各種学校・専門学校生」の回答は少なかった。

年代別にみると、20歳代では「大学・大学院・各種学校・専門学校生」が、30歳代から50歳代では「会社員・公務員・団体職員」が、70歳代では「家事専業」が、80歳以上では「無職」が多かった。性別では男性で「会社員・公務員・団体職員」と「無職」が、女性では「家事専業」が多かった。



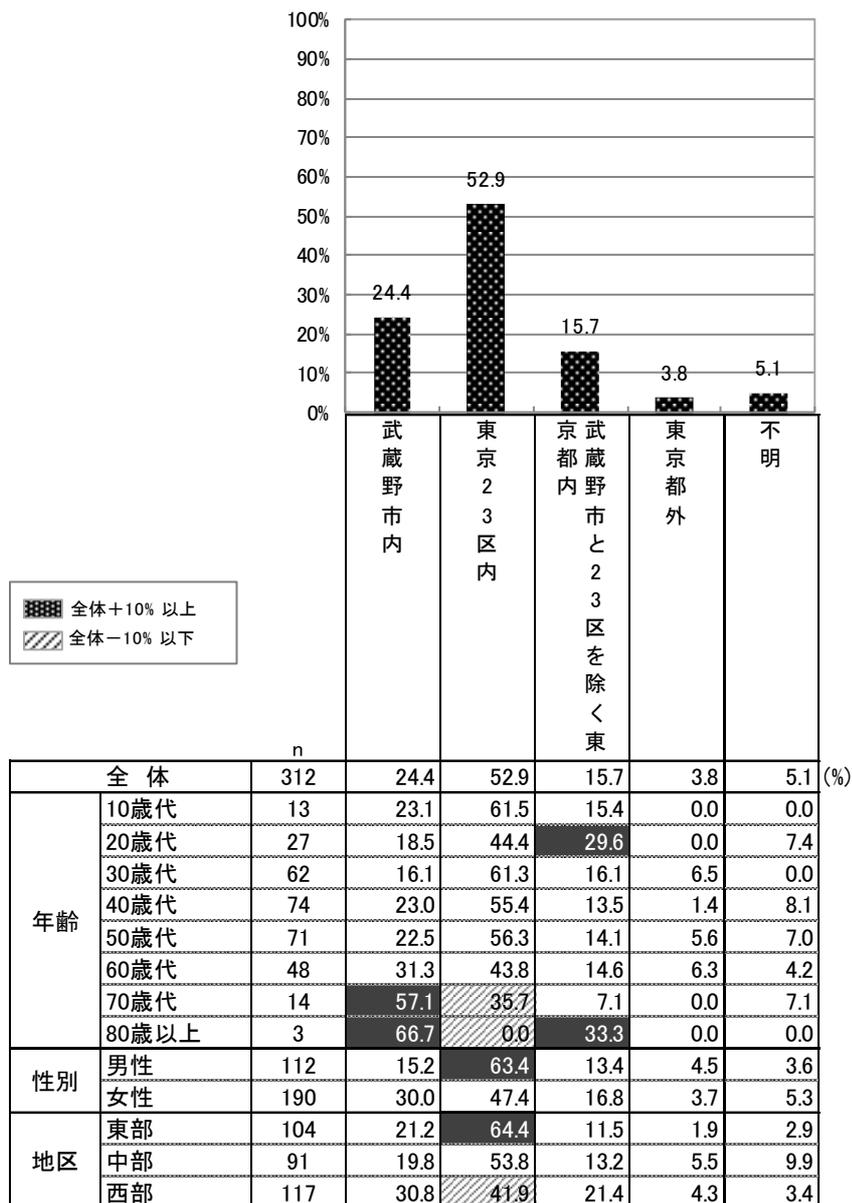
		N	高校生	大学・大学院・各種学校・専門学校生	自営・自由業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト	家事専業	無職	その他	不明
全体		540	2.2	2.2	8.0	30.6	14.8	21.9	16.9	2.0	1.5 (%)
年齢	10歳代	16	75.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0
	20歳代	33	0.0	33.3	0.0	39.4	9.1	15.2	0.0	3.0	0.0
	30歳代	79	0.0	0.0	6.3	62.0	10.1	20.3	1.3	0.0	0.0
	40歳代	98	0.0	0.0	9.2	43.9	22.4	23.5	1.0	0.0	0.0
	50歳代	83	0.0	0.0	13.3	45.8	26.5	10.8	3.6	0.0	0.0
	60歳代	96	0.0	0.0	9.4	21.9	18.8	20.8	27.1	2.1	0.0
	70歳代	82	0.0	0.0	7.3	1.2	8.5	41.5	39.0	2.4	0.0
	80歳以上	45	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	24.4	62.2	6.7	0.0
性別	男性	163	3.7	1.8	10.4	46.0	6.7	0.0	28.8	2.5	0.0
	女性	345	1.4	2.6	7.0	24.3	19.7	32.8	10.4	1.7	0.0
地区	東部	168	1.8	3.6	10.7	29.2	16.7	20.8	13.7	3.6	0.0
	中部	172	2.3	1.7	7.6	27.3	14.0	28.5	16.9	1.7	0.0
	西部	192	2.6	1.6	6.3	35.9	14.6	17.7	20.3	1.0	0.0

【(5)で「1. 高校生」「2. 大学・大学院・各種学校・専門学校生」「3. 自営・自由業」「4. 会社員・公務員・団体職員」「5. パート・アルバイト」を選んだ方のみ】

(5-1) 通勤・通学地

通勤・通学地で最も多いのは「東京 23 区内」の 52.9%で、ついで「武蔵野市内」の 24.4%、「武蔵野市と 23 区を除く東京都内」の 15.7%となった。「東京都外」は 3.8%と少なかった。

年代別にみると、20 歳代と 80 歳以上で「武蔵野市と 23 区を除く東京都内」が平均より多く、70 歳代と 80 歳以上で「武蔵野市内」が多くなっていった。性別では男性で「東京 23 区内」が多く、居住地区では東部で「東京 23 区内」という回答が多かった。



2-2. 読書状況や図書・資料入手の方法

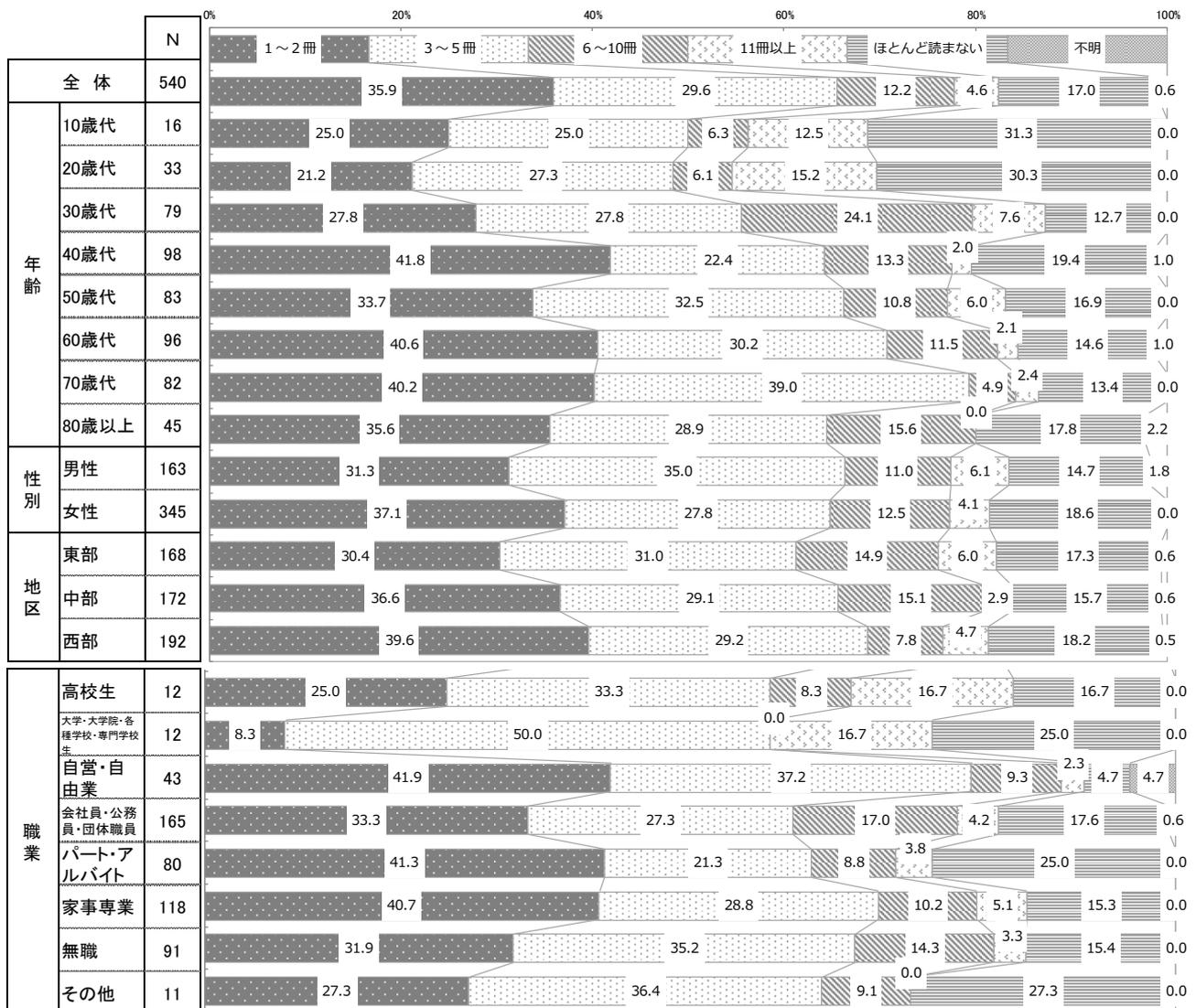
問 1 あなたは、本・雑誌（マンガを含む）を1ヶ月に何冊くらい読みますか（電子書籍を含む）。（それぞれ○は1つ）

① 本の冊数（1ヶ月の平均）

全体では「1～2冊」という回答が35.9%で最も多く、ついで「3～5冊」の29.6%、「6～10冊」の12.2%と続いた。月に1冊以上読んでいる人の計は82.3%、一方、「ほとんど読まない」は17.0%に止まった。

年代別にみると、10歳代と20歳代で「ほとんど読まない」という回答が30%を越えており、他の年代に比して非常に高かった。職業別では、その他を除くと、大学・大学院・各種学校・専門学校生とパート・アルバイトで「ほとんど読まない」が25.0%と高くなっていた。

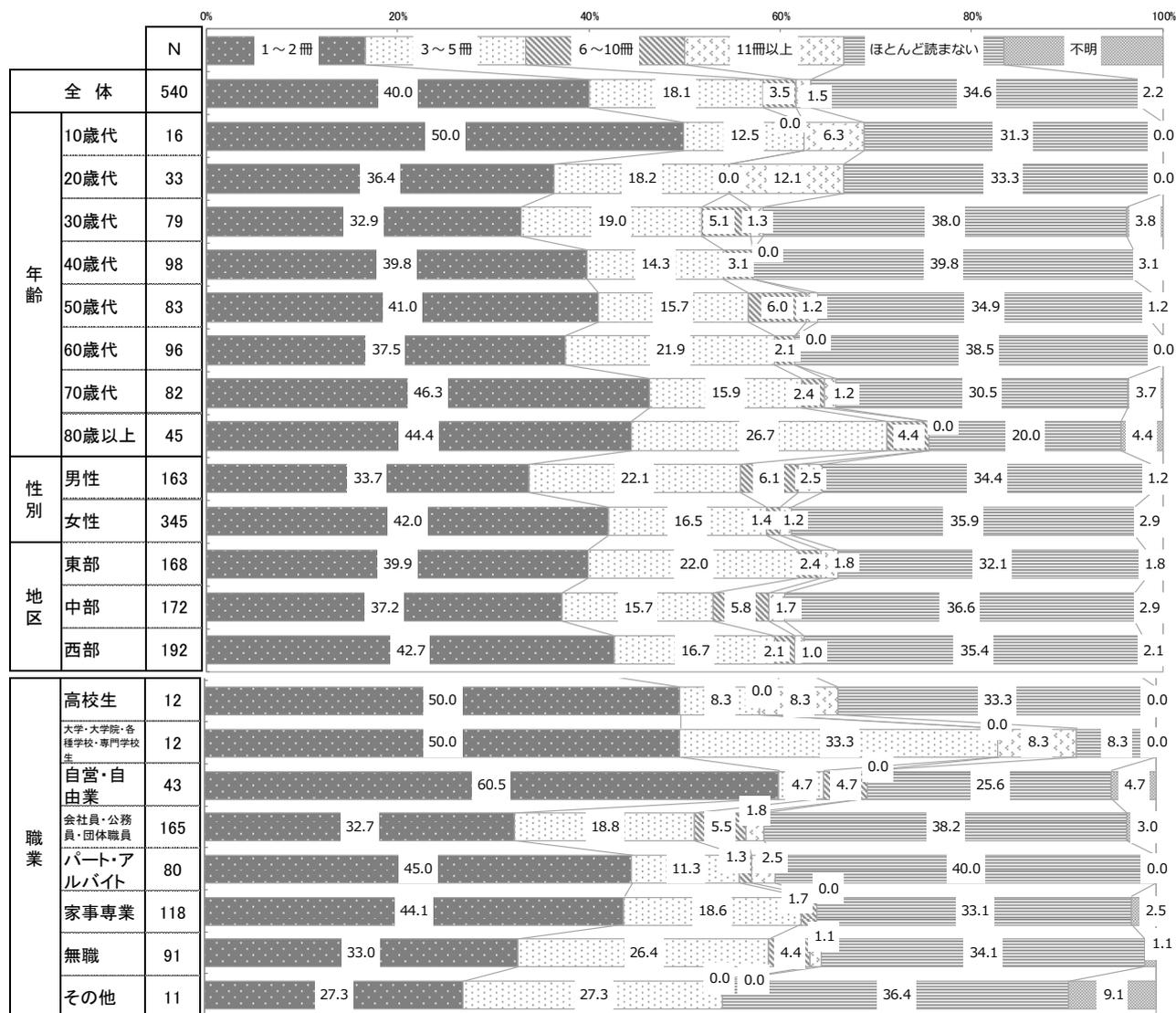
性別、地区では有意な差はみられなかった。



② 雑誌の冊数（1ヶ月の平均）

全体では「1～2冊」という回答が40.0%で最も多く、ついで「3～5冊」の18.1%となった。月に1冊以上読んでいる人の計は63.1%に止まり、「ほとんど読まない」は、34.6%と、書籍のほぼ倍の数値となっていた。

年代別にみると、30歳代（38.0%）と40歳代（39.8%）で「ほとんど読まない」という回答が多く、本に比べほぼ全年代で比率が高い。職業別では、会社員・公務員・団体職員（38.2%）とパート・アルバイト（40.0%）で高くなっているほか、地区別では有意な差はみられなかった。



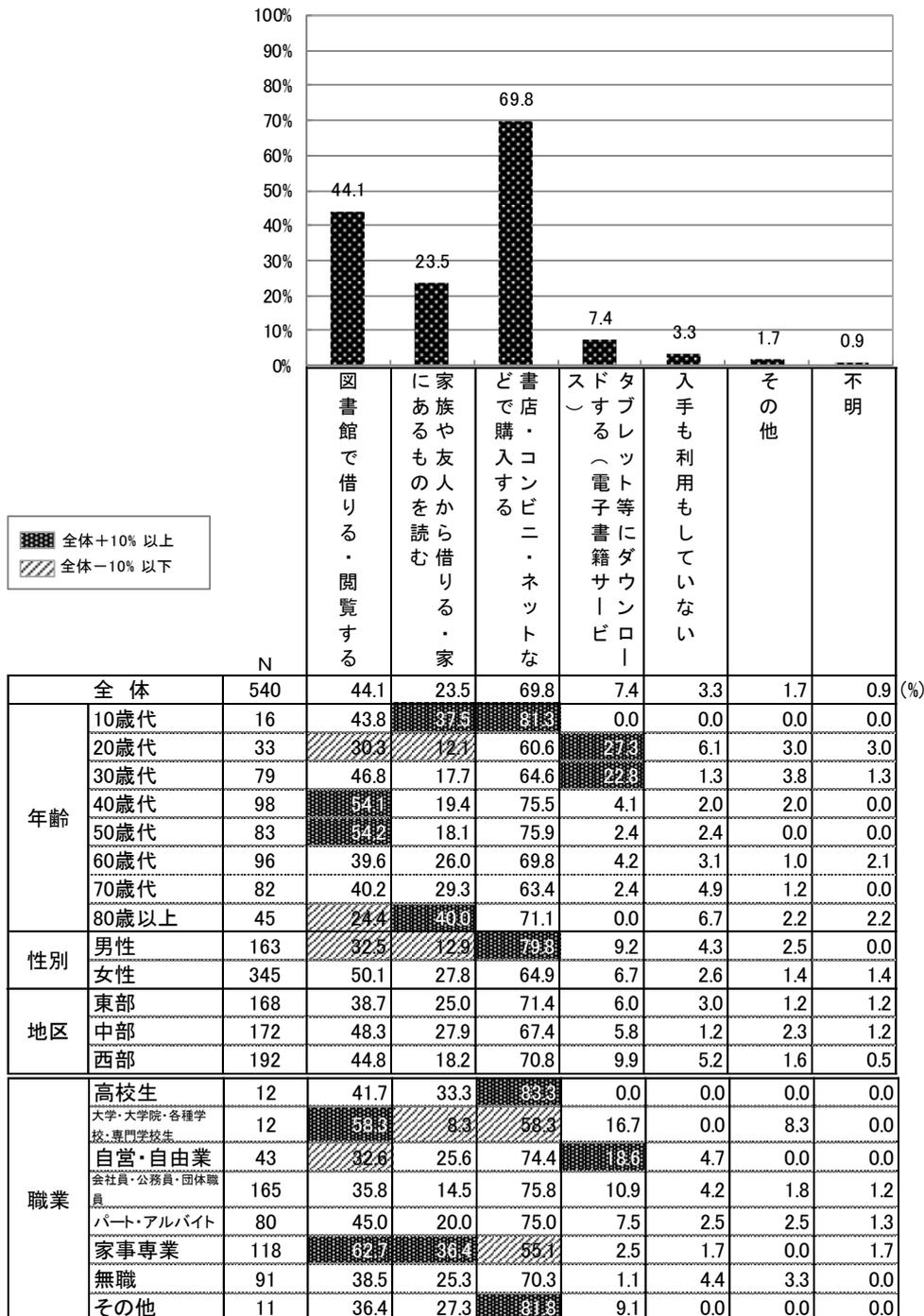
問2

あなたは、本・雑誌を主にどのような方法で入手・利用されていますか。
(それぞれ○は2つまで)

① 本の主な入手・利用法

全体で最も多いのは「書店・コンビニ・ネットなどで購入する」の69.8%で、ついで「図書館で借りる・閲覧する」の44.1%、「家族や友人から借りる・家にあるものを読む」の23.5%となる。「タブレット等にダウンロードする(電子書籍サービス)」は7.4%とまだ少なかった。年代別では「図書館で借りる・閲覧する」が多いのは40歳代と50歳代で、逆に20歳代と80歳以上は少なかった。また、20歳代と30歳代では「タブレット等にダウンロードする(電子書籍サービス)」の利用率が20%を越えた。職業別では、大学生等と家事専業で「図書館で借りる・閲覧する」が多かった一方、自営・自由業では「図書館で借りる・閲覧する」が少なく、「タブレット等にダウンロードする(電子書籍サービス)」が多くなっていた。

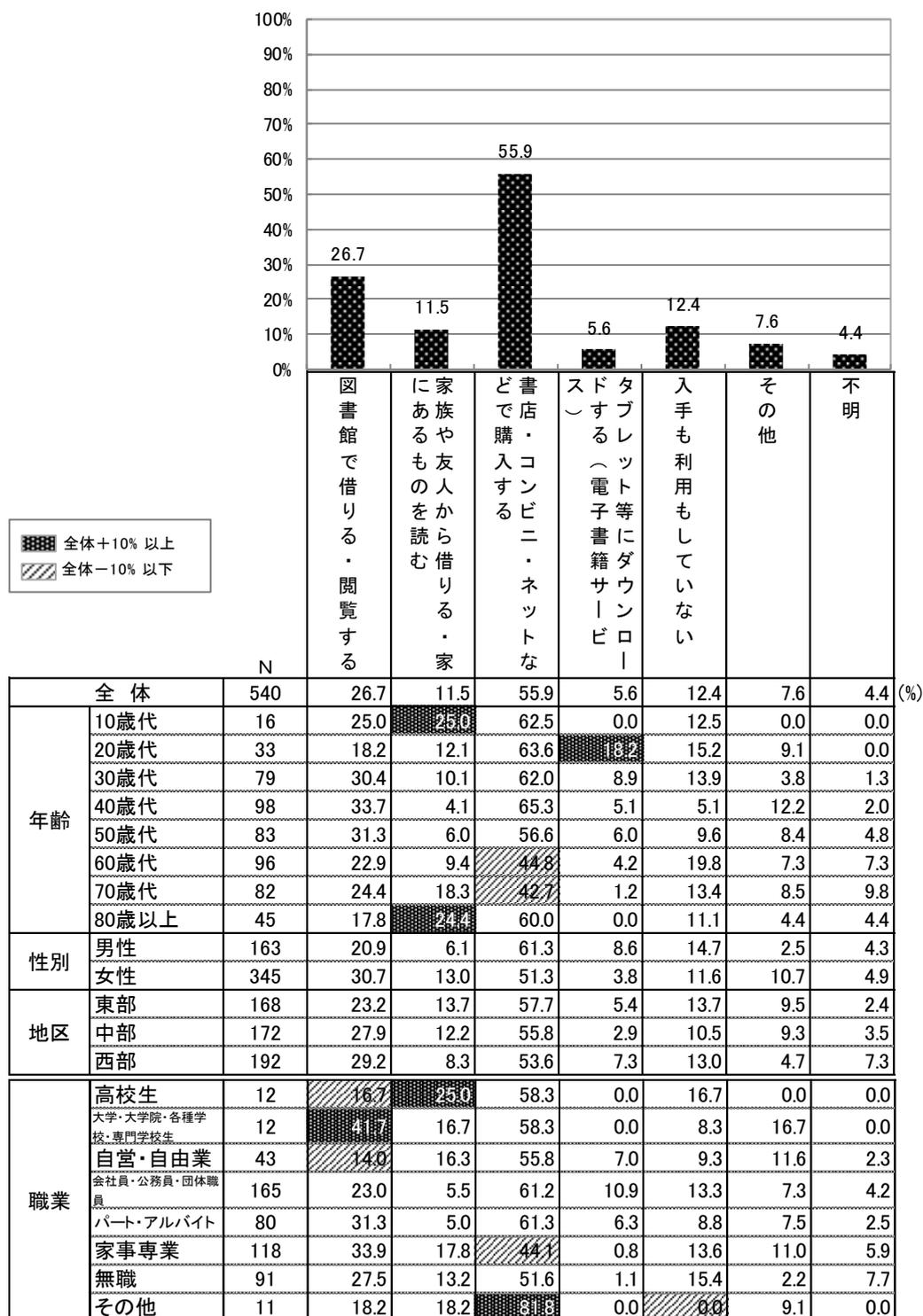
性別では、男性の8割が購入を選択した。



② 雑誌の主な入手・利用法

全体で最も多いのは「書店・コンビニ・ネットなどで購入する」の55.9%で、ついで「図書館で借りる・閲覧する」の26.7%、「家族や友人から借りる・家にあるものを読む」の11.5%となった。「タブレット等にダウンロードする（電子書籍サービス）」は5.6%であった。

年代別では20歳代で「タブレット等にダウンロードする（電子書籍サービス）」の利用率が18.2%と比較的高かった。大学・大学院・各種学校・専門学校生で「図書館で借りる・閲覧する」が多く、逆に高校生と自営業・自由業では少なくなっていた。

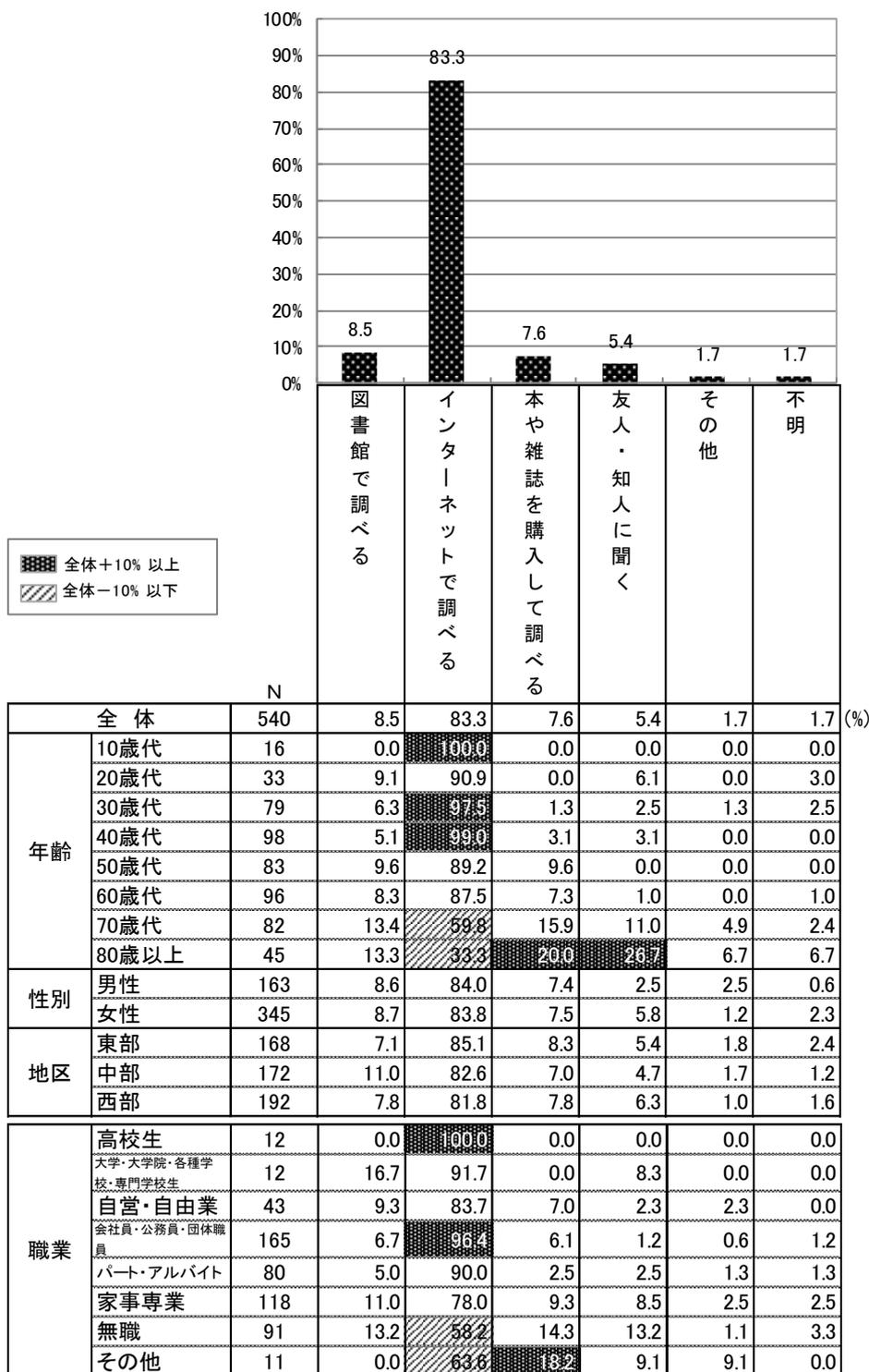


問3

あなたは知りたいことがあるとき、主にどのような方法で調べますか。(〇は2つまで)

全体で最も多いのは「インターネットで調べる」の83.3%で、「図書館で調べる」8.5%、「本や雑誌を購入して調べる」7.6%を大きく引き離していた。

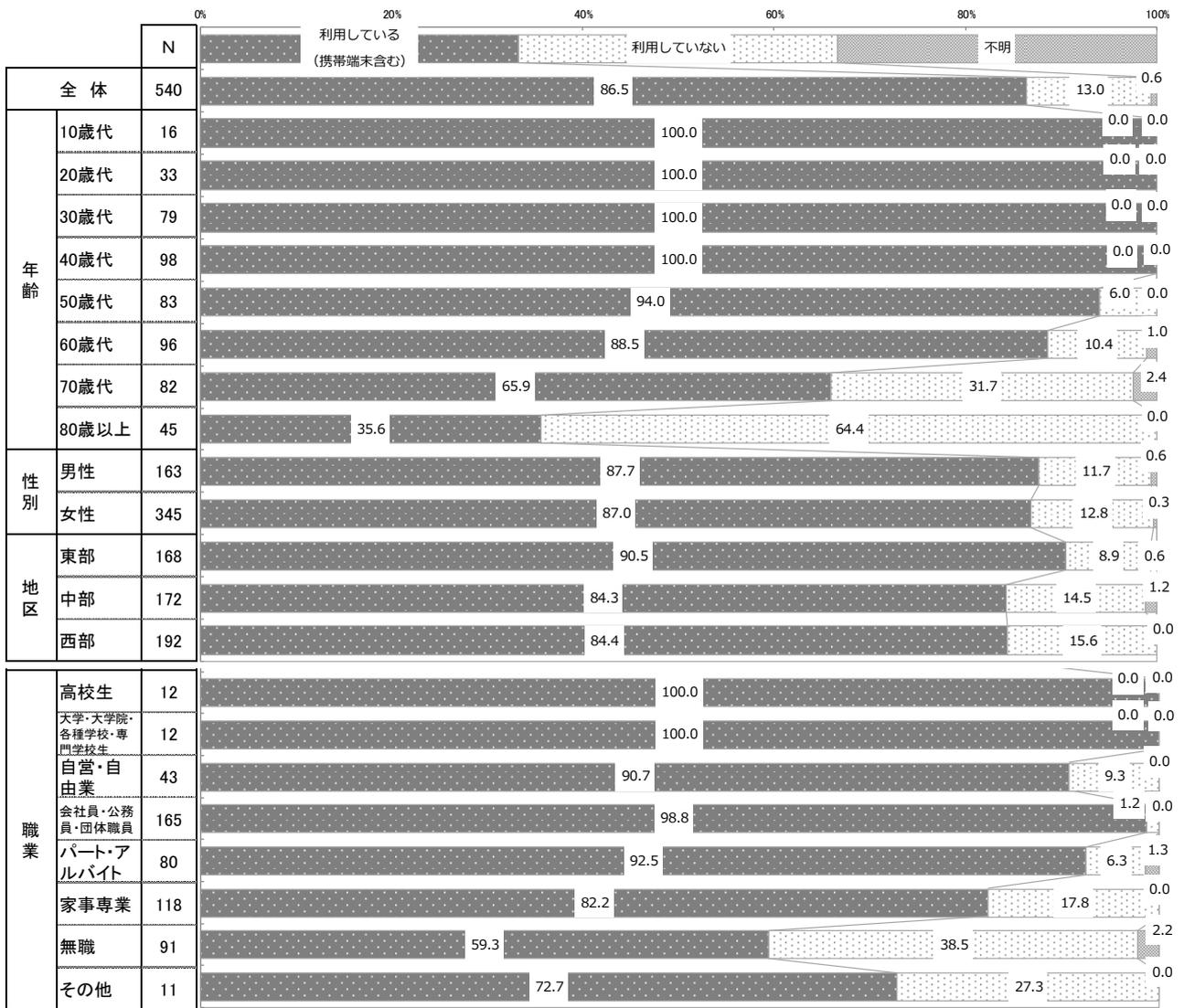
年代別にみると、70歳代から上で、「インターネットで調べる」が減り、他の回答が増えている。職業では、無職で、「インターネットで調べる」が少ないが、他はインターネット利用が顕著であった。



問 4 あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ)

全体では86.5%が「利用している」と回答した。年代別では、10歳代から40歳代までは100%が利用、60歳代も80%以上が利用しており、利用率が大きく減ってくるのは70歳代以上に限られた。

職業別でも、無職や家事専業など、年代が高い層で多い傾向の職業でのみ「利用している」という回答が少なかった。



(問4で「1.利用している」を選んだ方)

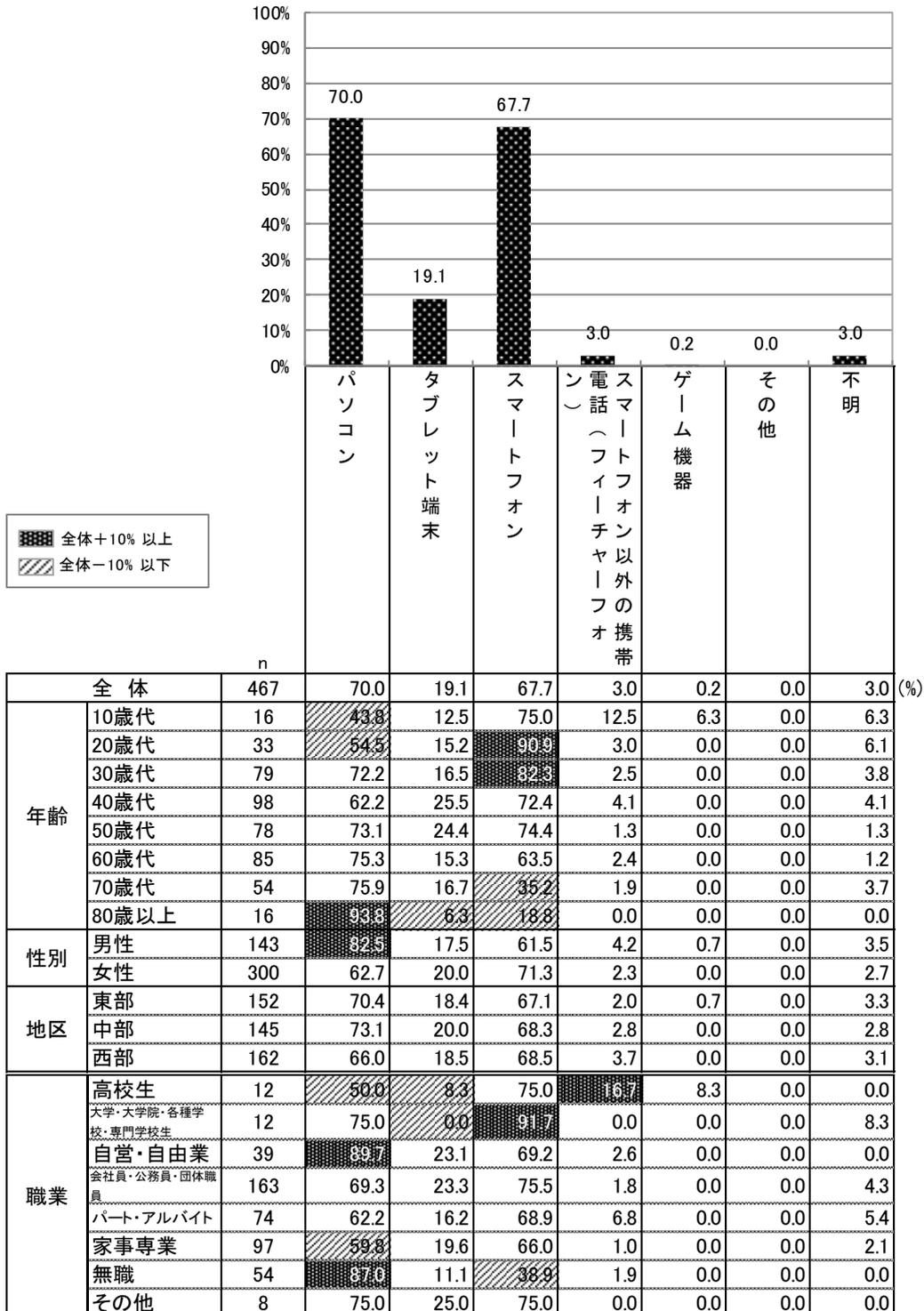
問4-1

あなたが主にインターネットを利用している機器の種類をお知らせください。
(○は2つまで)

全体では「パソコン」が70.0%、「スマートフォン」が67.7%と拮抗していた。年代別では、10歳代・20歳代で「パソコン」が少なく、80歳以上で多い。逆に「スマートフォン」は20歳代・30歳代で多く、70歳代以上で少なくなっていた。

職業別では無職と自営・自由業で「パソコン」が多く、大学・大学院・各種学校・専門学校生で「スマートフォン」が多かった。

性別では、男性が「パソコン」、女性が「スマートフォン」の利用が多かった。

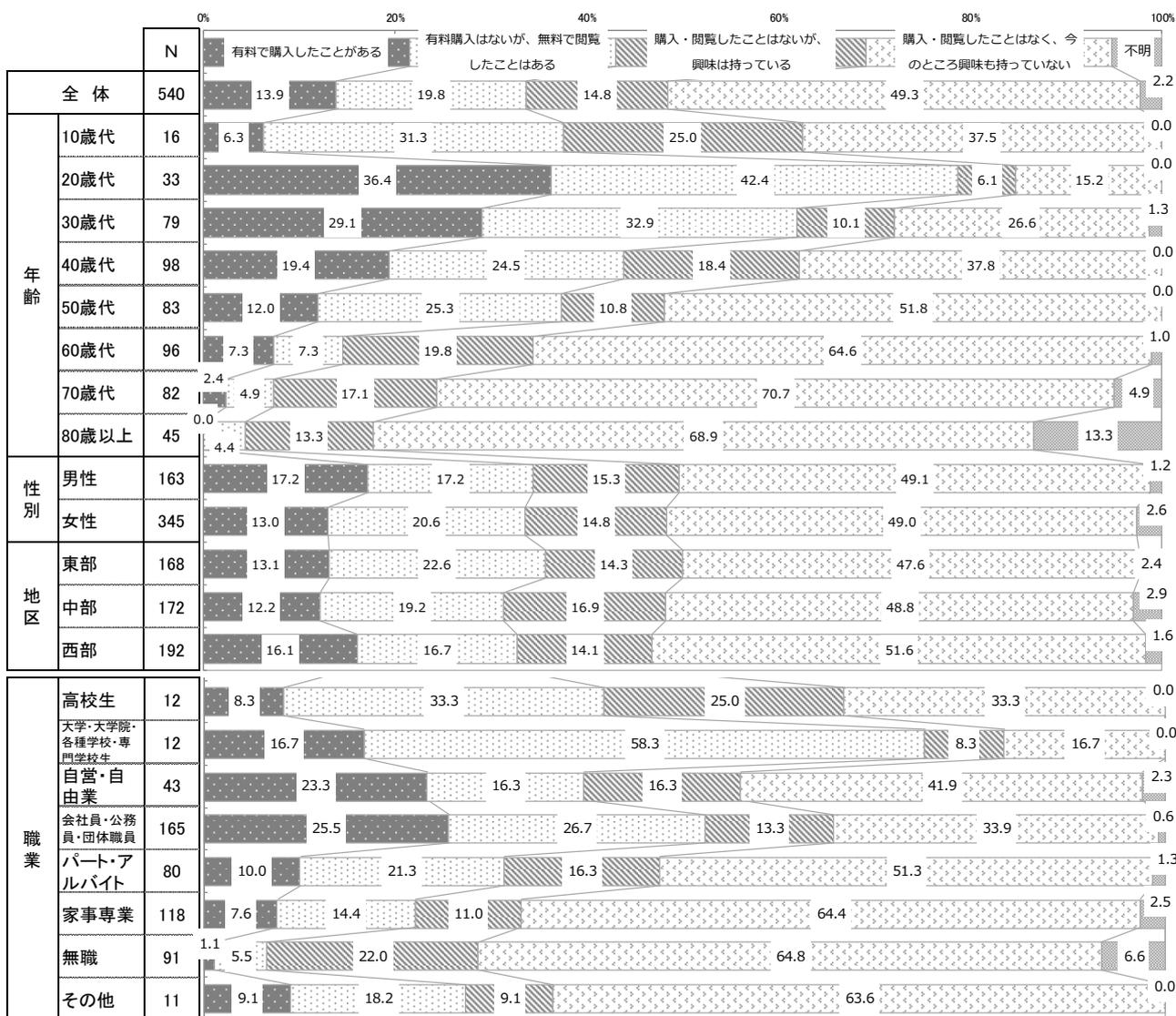


問 5 あなたは電子書籍を利用されていますか。(○は1つ)

全体では「有料で購入したことがある」13.9%、「有料購入はないが、無料で閲覧したことはある」19.8%の計 33.7%で利用経験があり、約5割で興味を持っている一方、「購入・閲覧したことはなく、今のところ興味も持っていない」という回答は 49.3%であり、約半々であった。

年代別では 10 歳代から 50 歳代まで利用経験の計が全体平均を超えており、特に 20 歳代(78.8%)、30 歳代(62.0%)では高い値であるほか、60 歳代以上は大きく数値が減っていた。職業別でみると、大学・大学院・各種学校・専門学校生で利用率の計が 75.0%と高く、会社員・公務員・団体職員で「有料で購入したことがある」が 25.5%と高かった。

性別、地区別とも有意な差はみられなかった。

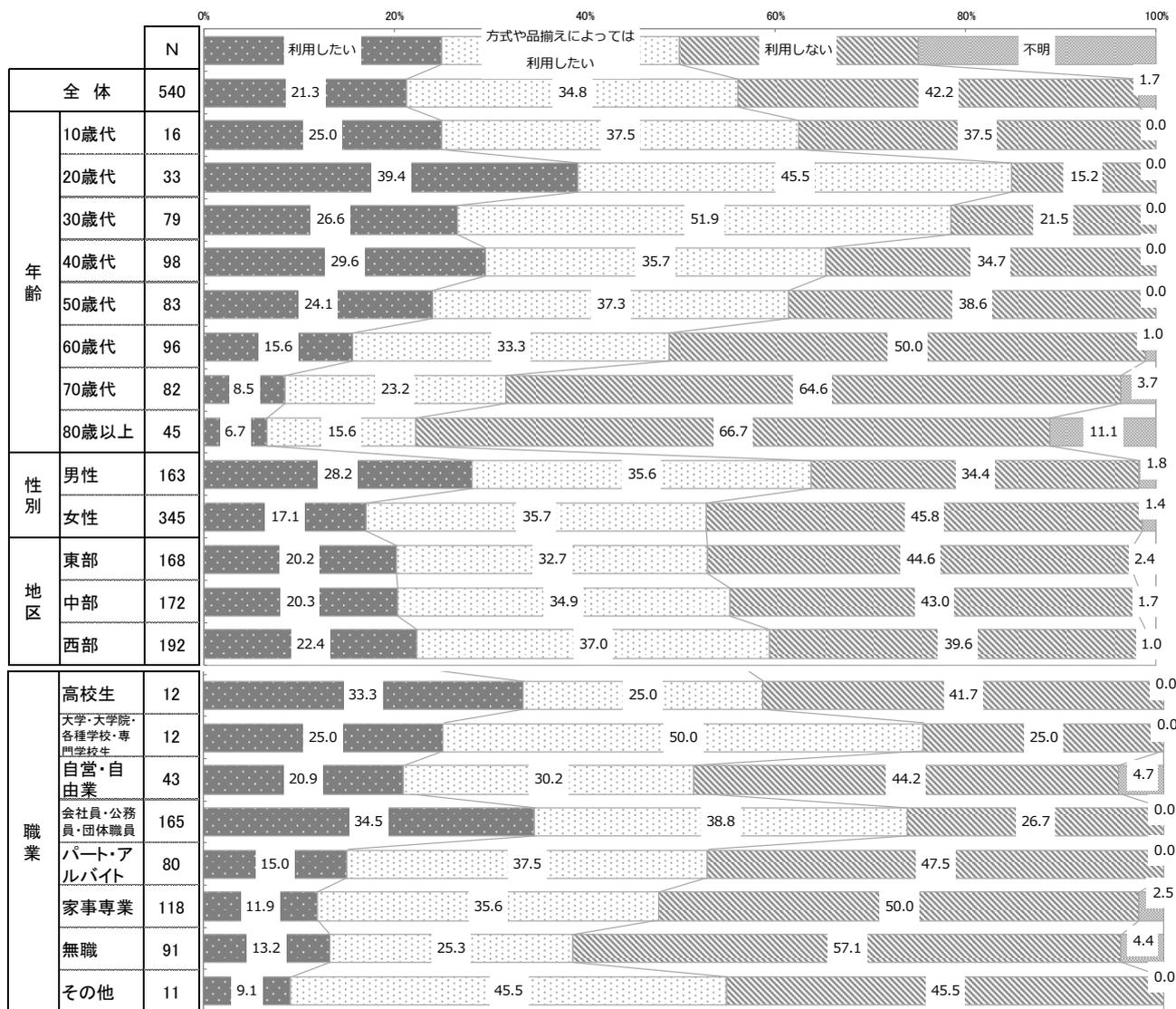


問 6 図書館で電子書籍の貸出が始まったら利用したいですか。(○は1つ)

全体では「利用したい」21.3%、「方式や品揃えによっては利用したい」34.8%の計56.1%で利用意向があった。一方、「利用しない」という回答は42.2%であった。

年代別では10歳代から50歳代まで利用意向の計が60%を超えており、特に20歳代では「利用したい」39.4%、「方式や品揃えによっては利用したい」45.5%の合わせて84.9%が意向を示していた。一方、70歳代以上では、利用意向が顕著に低くなった。

性別では男性の利用意向が6割超であるほか、女性も半数を超えた。職業別でみると、大学・大学院・各種学校・専門学校生と、会社員・公務員・団体職員で、意向が高かった。



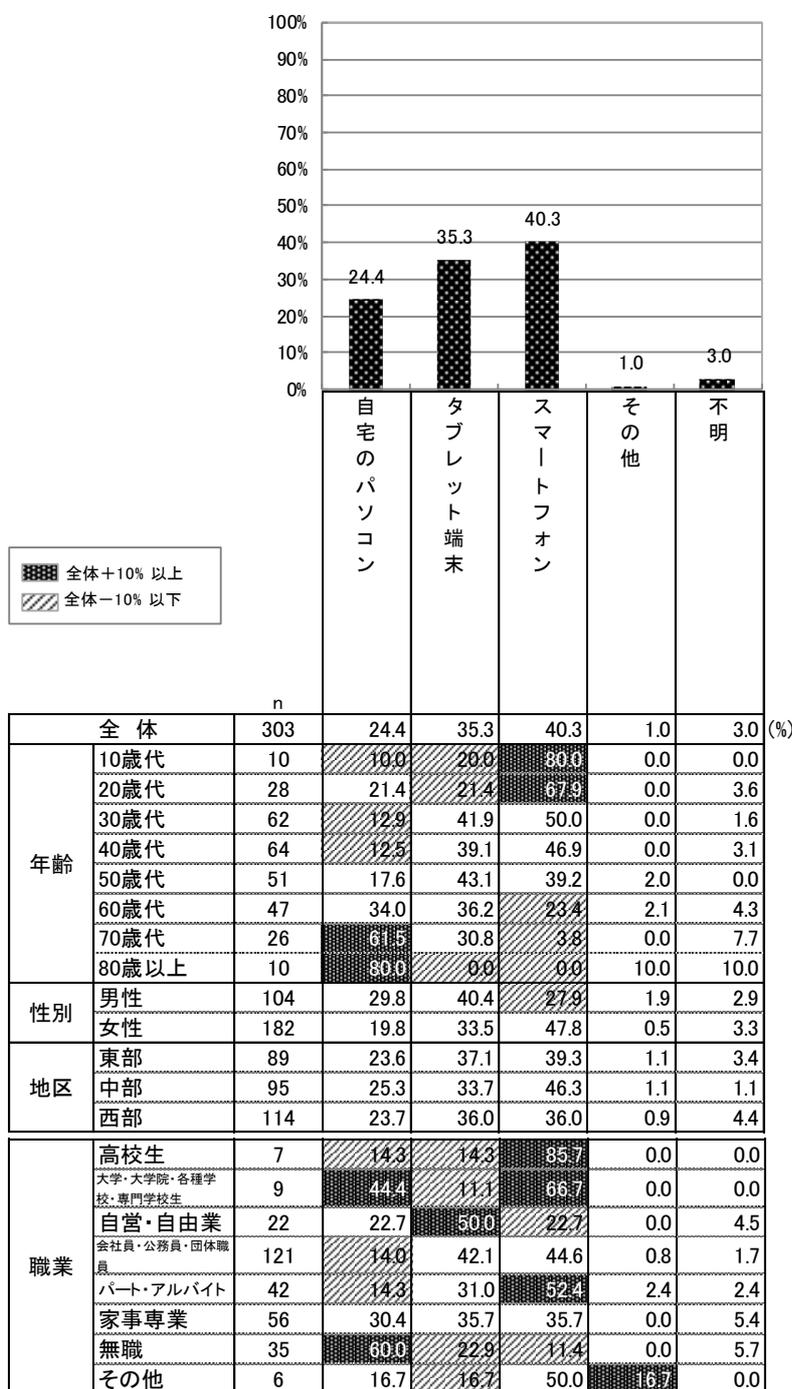
(問 6-1、問 6-2 は、問 6 で「1. 利用したい」、「2. 方式や品揃えによっては利用したい」を選んだ方)

問 6-1 電子書籍はどのような媒体で利用したいですか。(○は2つまで)

全体では「スマートフォン」が 40.3%と高く、ついで「タブレット端末」35.3%、「自宅のパソコン」24.4%となっており、手軽さを求める意見が比較的多かった。

年代別では 10 歳代、20 歳代で「スマートフォン」を選ぶ人が多く、70 歳代以上では「自宅のパソコン」が多く、逆転していた。職業別では、無職で「自宅のパソコン」が、高校生とパート・アルバイトで「スマートフォン」が、自営・自由業で「タブレット端末」が、大学・大学院・各種学校・専門学校生で「自宅のパソコン」と「スマートフォン」の双方が多かった。

男性は「自宅のパソコン」がわずかながら「スマートフォン」を上回ったが、女性は「スマートフォン」が「自宅のパソコン」に差をつけて多かった。



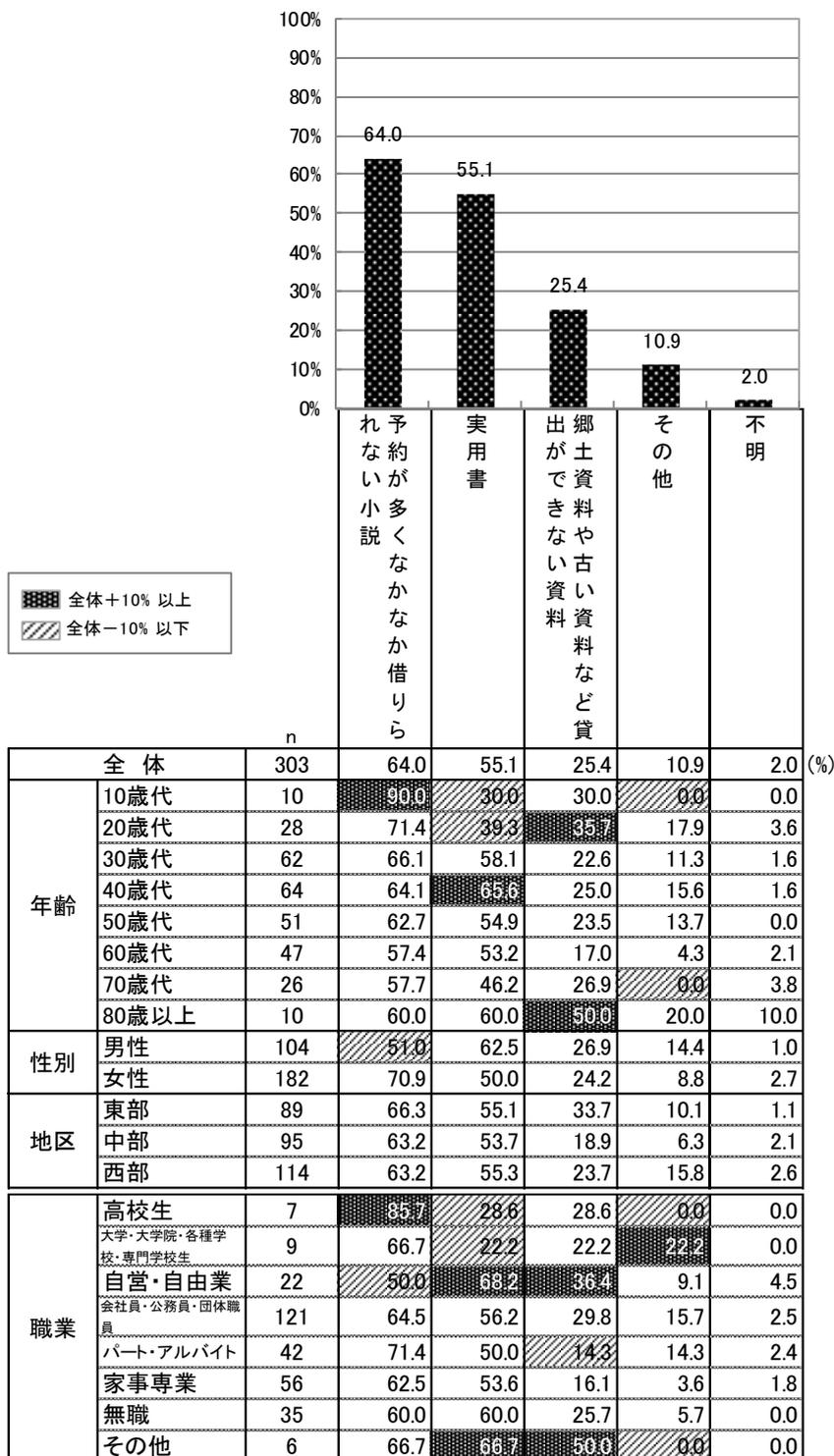
問 6-2

どのようなジャンルの電子書籍があれば利用したいですか。(〇はいくつでも)

全体では「予約が多くなかなか借りられない小説」が64.0%と多く、ついで「実用書」の55.1%と続いた。10歳代を筆頭に「予約が多くなかなか借りられない小説」がどの年代でも人気が高いほか、20歳代と80歳以上では「郷土資料や古い資料など貸出ができない資料」が、40歳代を中心に30~60歳代で「実用書」も比較的多かった。

職業別では、高校生で「予約が多くなかなか借りられない小説」が、自営・自由業で「実用書」と「郷土資料や古い資料など貸出ができない資料」が多かった。

男性は「実用書」、女性は「予約が多くなかなか借りられない小説」が多かった。

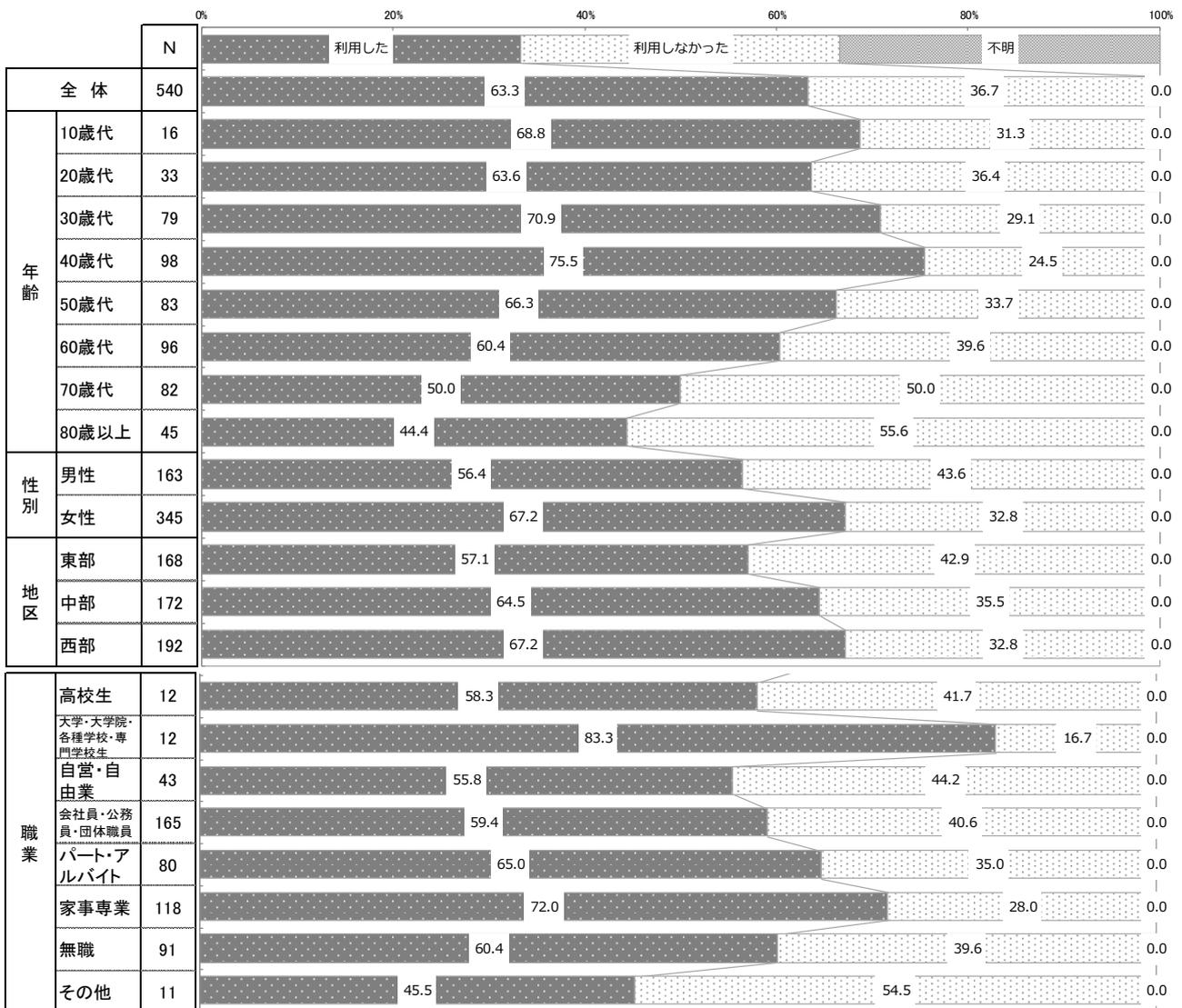


2-3. 図書館の利用状況

問7 あなたは過去1年間に武蔵野市立図書館（中央図書館、吉祥寺図書館、武蔵野プレイスのいずれか）を利用したことがありますか。（○は1つ）

全体では「利用した」が63.3%、「利用しなかった」が36.7%となった。年齢別では、40歳代の利用率が最も高いほか、50歳代までは全体平均を上回った。70歳代以上の年齢では利用率が他の年代に比して大きく下がってきていた。性別では女性の方が利用率が高かった。

職業別では、大学・大学院・各種学校・専門学校生と家事専業で、利用率が高い傾向にあった。



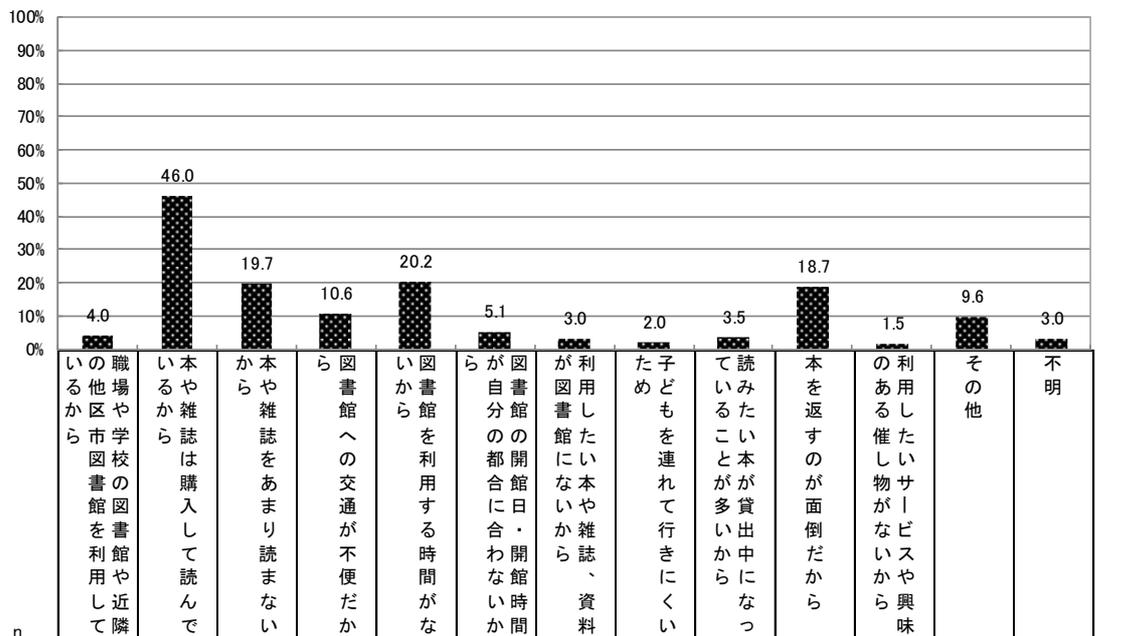
(問7で「2. 利用しなかった」を選んだ方)

問7-1

市立図書館を過去1年間利用しなかった主な理由は何ですか。(〇は2つまで)

全体では「本や雑誌は購入して読んでいるから」が46.0%と他に比べかなり多く、以下「図書館を利用する時間がないから」20.2%、「本や雑誌をあまり読まないから」19.7%、「本を返すのが面倒だから」18.7%等と続いたが、差はわずかであった。「利用したい本や雑誌、資料が図書館にないから」(3.0%)、「読みたい本が貸出中になっていることが多いから」(3.5%)という在庫についての理由を回答した層は少なかった。

年齢別では、30歳代で「子どもを連れて行きにくい」という回答が13.0%と比較的多かった。職業別では、会社員・公務員・団体職員で「図書館を利用する時間がないから」が31.3%と多かった。



■ 全体+10%以上
 ▨ 全体-10%以下

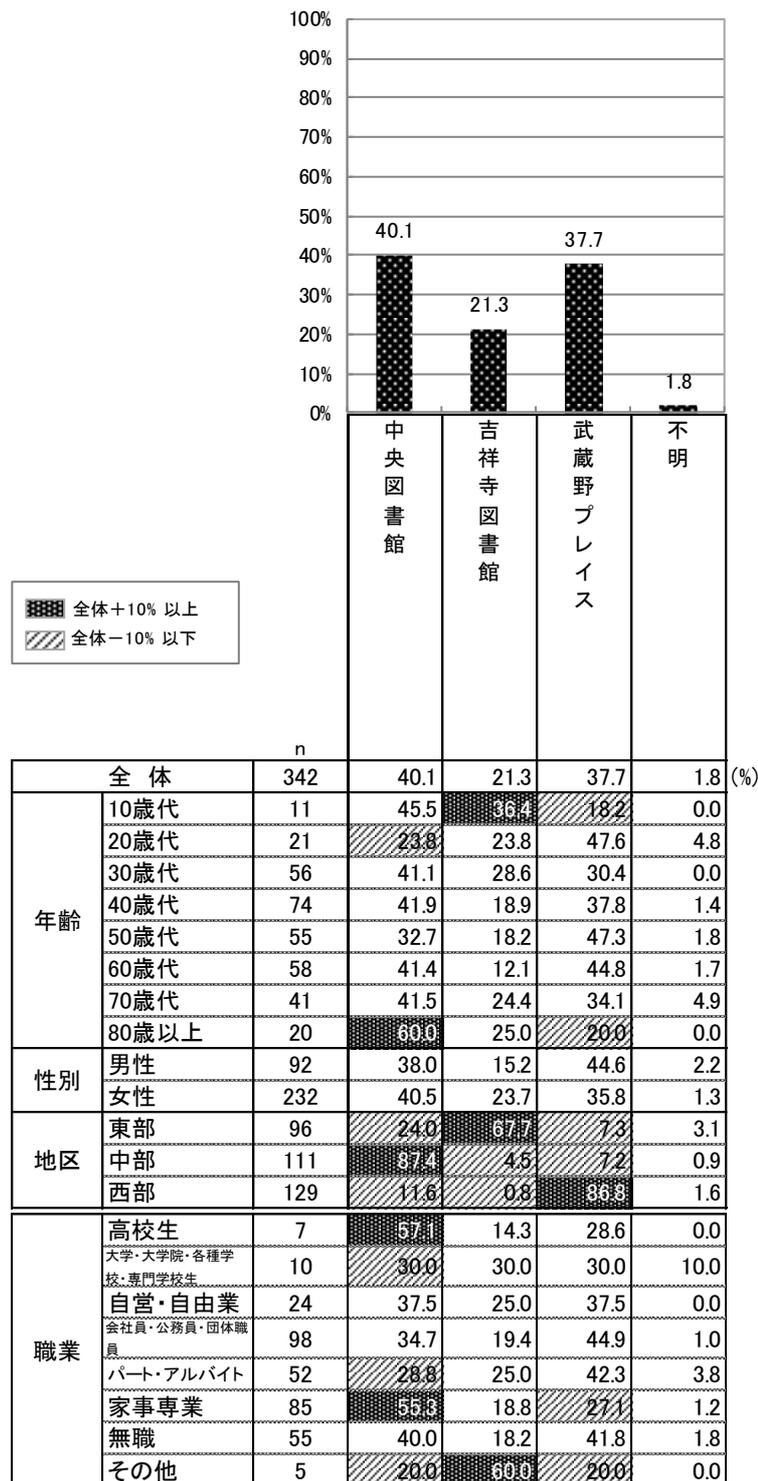
n		4.0	46.0	19.7	10.6	20.2	5.1	3.0	2.0	3.5	18.7	1.5	9.6	3.0	
全体	198	4.0	46.0	19.7	10.6	20.2	5.1	3.0	2.0	3.5	18.7	1.5	9.6	3.0	
年齢	10歳代	5	40.0	39.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	12	8.3	25.0	16.7	16.7	33.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	
	30歳代	23	4.3	47.8	13.0	8.7	13.0	4.3	0.0	13.0	21.7	0.0	4.3	8.7	
	40歳代	24	4.2	50.0	16.7	16.7	25.0	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0	8.3	0.0	
	50歳代	28	3.6	42.9	17.9	10.7	28.6	10.7	3.6	0.0	0.0	25.0	3.6	7.1	0.0
	60歳代	38	2.6	47.4	18.4	7.9	26.3	5.3	5.3	0.0	2.6	23.7	2.6	7.9	2.6
	70歳代	41	2.4	50.0	17.1	12.2	12.2	0.0	2.4	0.0	7.3	14.6	2.4	14.6	4.9
	80歳以上	25	0.0	32.0	32.0	8.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	16.0	4.0	
性別	男性	71	5.6	52.1	18.3	15.5	14.1	5.6	4.2	1.4	2.8	25.4	4.2	8.5	0.0
	女性	113	2.7	43.4	21.2	8.0	23.9	4.4	2.7	4.4	15.9	0.0	10.6	4.4	
地区	東部	72	8.3	53.9	12.5	6.9	16.7	9.7	1.4	0.0	5.6	13.9	2.8	13.9	1.4
	中部	61	0.0	34.4	24.6	18.0	18.0	3.3	4.9	4.9	3.3	21.3	1.6	6.6	4.9
	西部	63	3.2	46.0	22.2	7.9	23.8	1.6	3.2	1.6	1.6	22.2	0.0	7.9	3.2
職業	高校生	5	40.0	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	大学・大学院・各種学校・専門学校	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	自営・自由業	19	5.3	52.6	10.5	0.0	26.3	10.5	5.3	5.3	5.3	21.1	5.3	10.5	0.0
	会社員・公務員・団体職員	67	4.5	47.8	16.4	14.9	31.3	6.0	4.5	1.5	6.0	16.4	3.0	7.5	3.0
	パート・アルバイト	28	3.6	25.0	28.6	14.3	14.3	7.1	3.6	0.0	0.0	28.6	0.0	10.7	3.6
	家事専業	33	0.0	57.6	21.2	6.1	15.2	0.0	0.0	6.1	6.1	15.2	0.0	9.1	0.0
	無職	36	0.0	41.7	22.2	11.1	5.6	0.0	2.8	0.0	0.0	19.4	0.0	16.7	5.6
	その他	6	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

(問 7-2～問 7-7 は、問 7 で「1. 利用した」を選んだ方)

問 7-2 もっともよく利用する市立図書館 (○は1つ)

全体では「中央図書館」が 40.1%と最も多く、ついで「武蔵野プレイス」37.7%、「吉祥寺図書館」21.3%となった。年齢別では 10 歳代で「吉祥寺図書館」が多かった。地区別では、東部で「吉祥寺図書館」、中部で「中央図書館」、西部で「武蔵野プレイス」が多くなっていた。

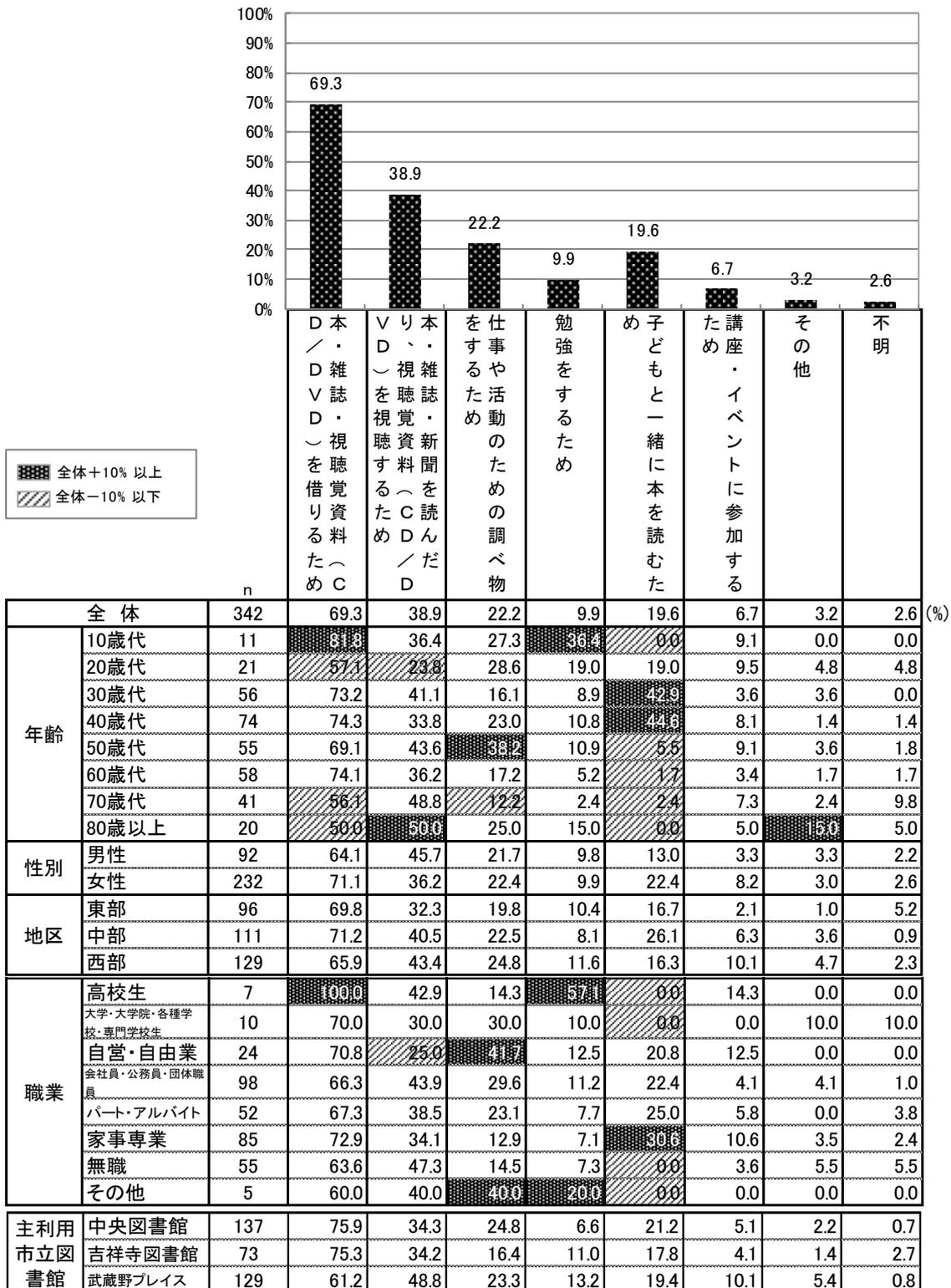
職業別では、高校生と家事専業で「中央図書館」が多かった。



問 7-3 利用の目的 (○はいくつでも)

全体では「本・雑誌・視聴覚資料を借りるため」が69.3%で最も多く、ついで「本・雑誌・新聞を読んだり、視聴覚資料を視聴するため」の38.9%となった。10歳代では「勉強をするため」、30歳代・40歳代では「子どもと一緒に本を読むため」、50歳代では「仕事や活動のための調べ物をするため」が多かった。

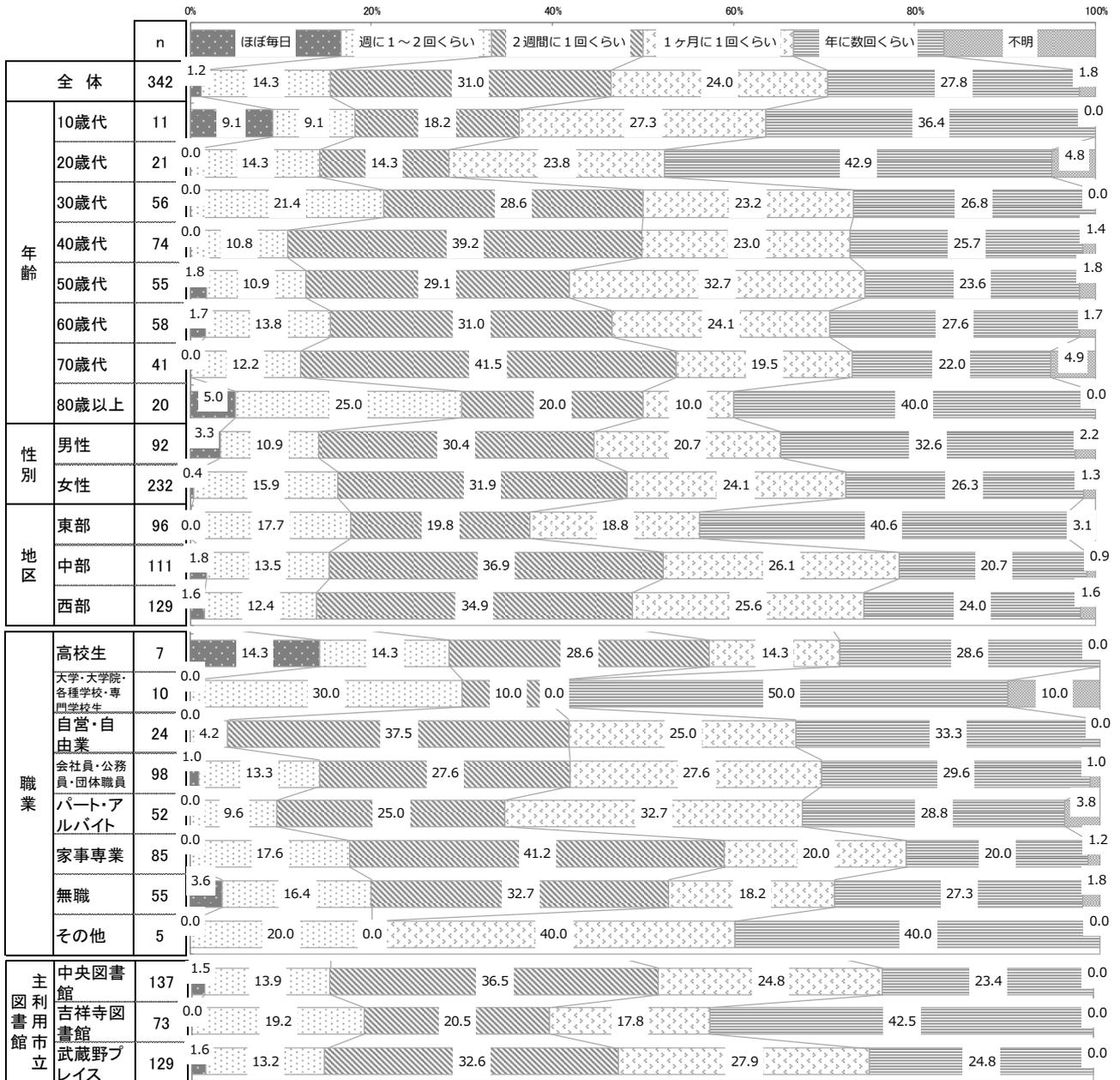
職業別では、高校生で「勉強をするため」、自営・自由業で「仕事や活動のための調べ物をするため」、家事専業で「子どもと一緒に本を読むため」が多かった。



問 7-4 利用する頻度 (○は1つ)

全体では「ほぼ毎日」1.2%、「週に1～2回くらい」14.3%、「2週間に1回くらい」31.0%、「1ヶ月に1回くらい」24.0%となっており、70.5%が月1回以上利用していた。

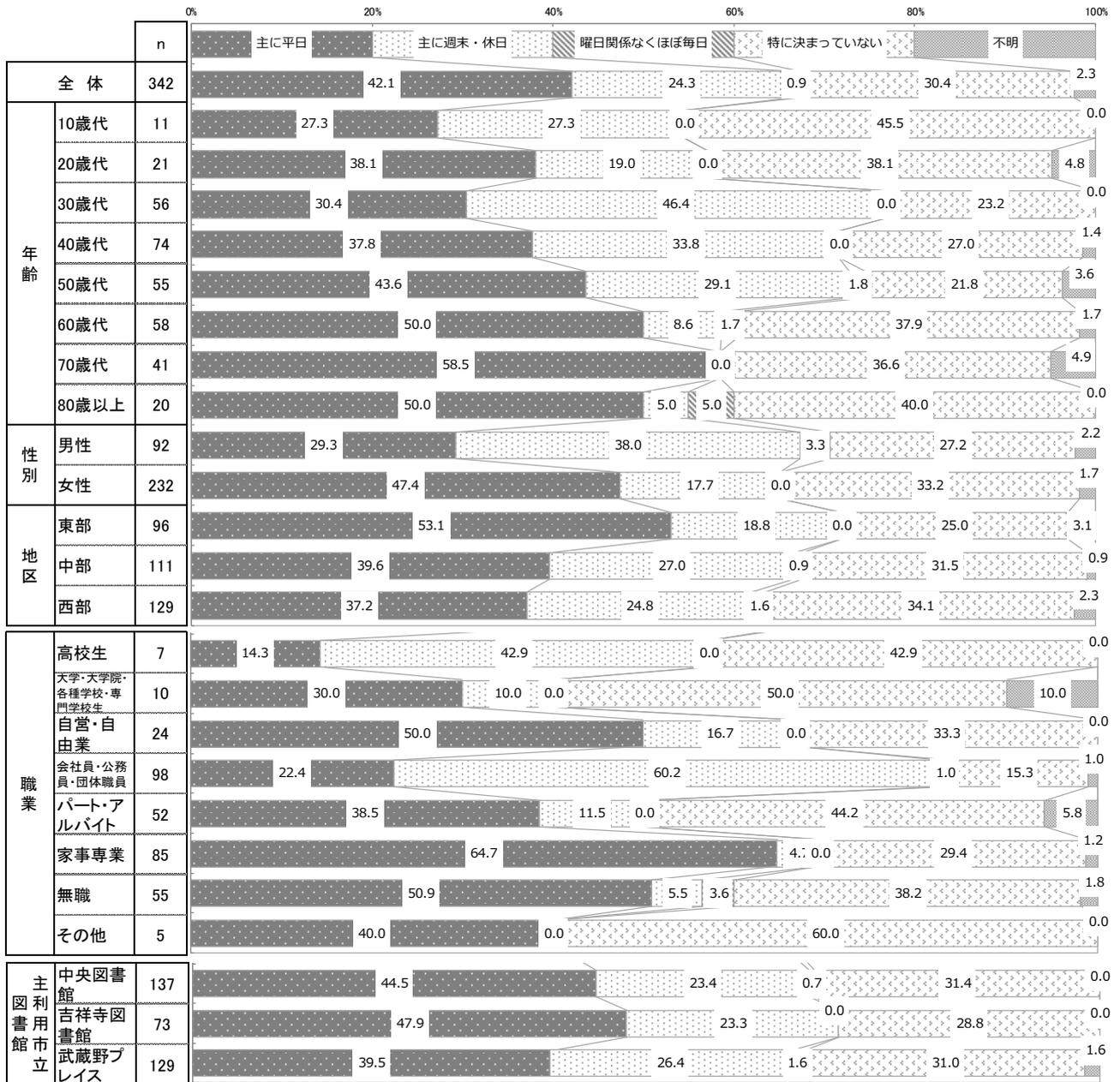
定期的な利用と見込まれる月1回以上、図書館を利用する割合が低いのは、年齢別では20歳代、地区別では東部、職業別では大学・大学院・各種学校・専門学校生、利用図書館別では吉祥寺図書館であった。



問 7-5 よく利用する曜日 (○は1つ)

全体では「主に平日」が42.1%、「主に週末・休日」が24.3%、「特に決まっていない」が30.4%となった。年齢別では60歳代以上、性別では女性の方が「主に平日」に利用している割合が高かった。また地区別では東部で、職業別では、自営・自由業、家事専業、無職で「主に平日」の割合が高かった。

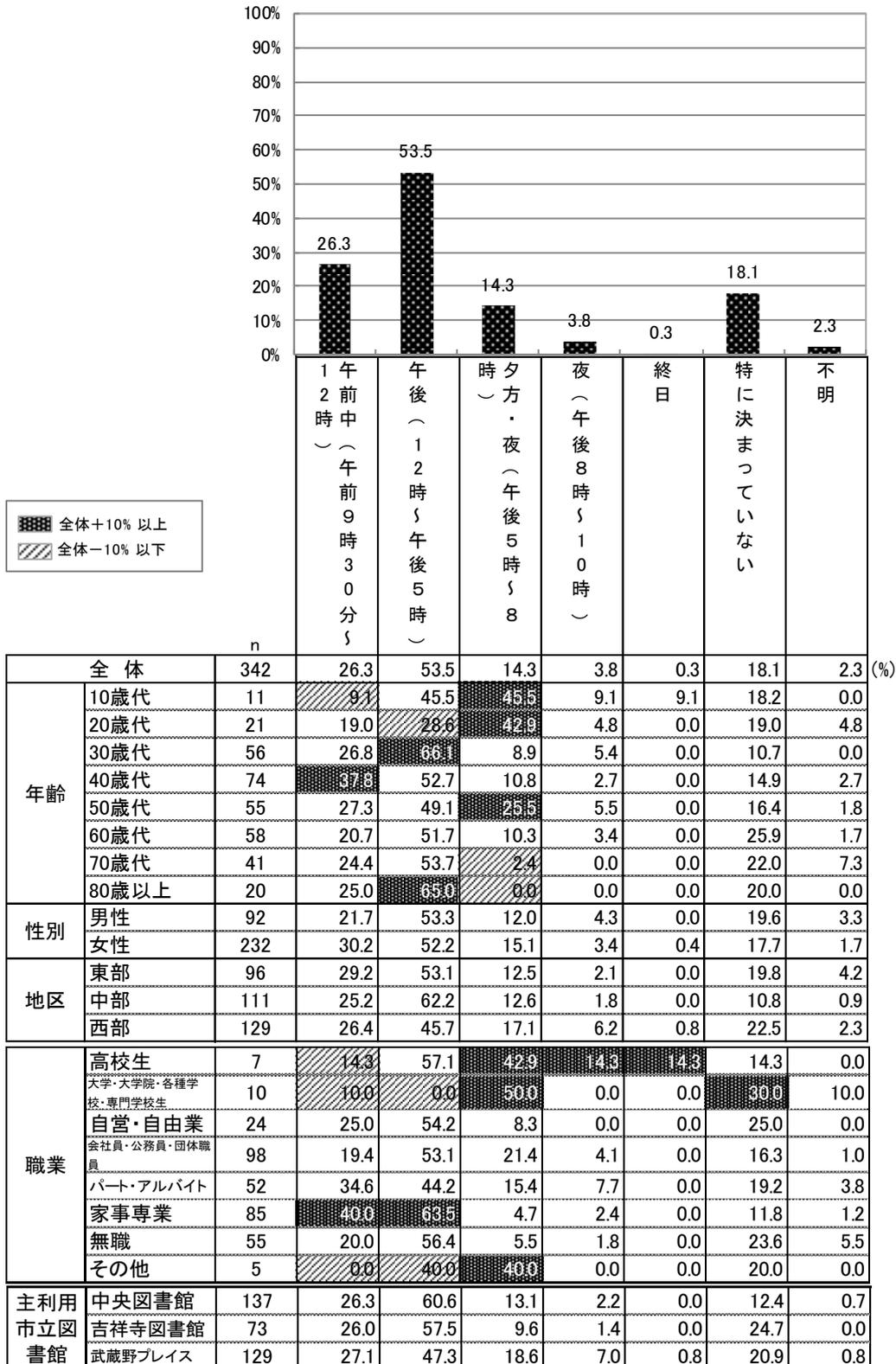
また、利用図書館別では、武蔵野プレイスでやや「主に週末・休日」という割合が多かった。



問 7-6 よく利用する時間帯（○はいくつでも）

全体では「午後（12時～午後5時）」が53.5%で最も多く、ついで「午前中（午前9時30分～12時）」の26.3%、「特に決まっていない」18.1%となった。

「夕方・夜（午後5時～8時）」については、年齢では10歳代・20歳代、職業では高校生、大学・大学院・各種学校・専門学校生が、「夜（午後8時～10時）」では高校生の回答が平均より多くなった。

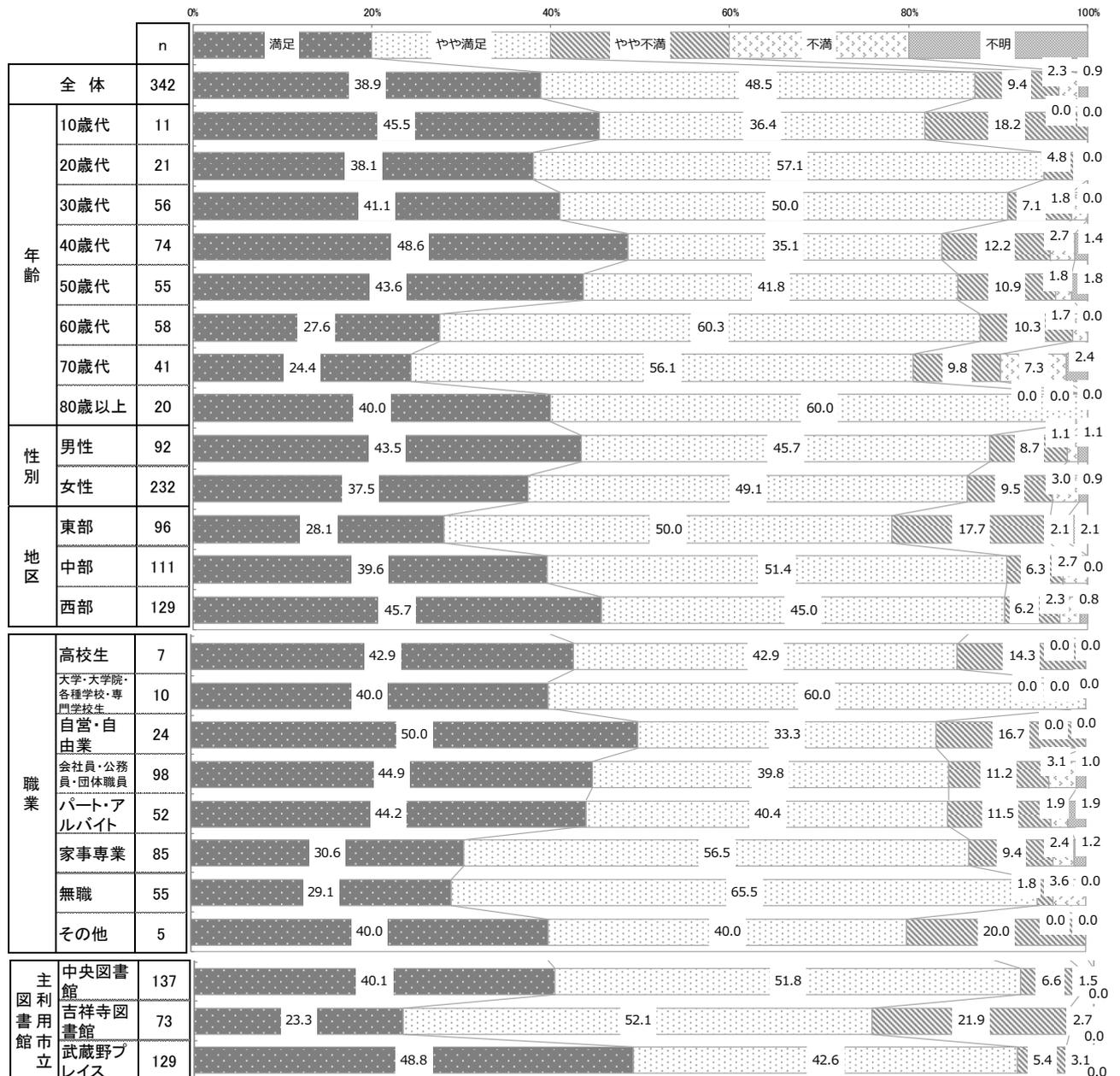


問 7-7

市立図書館についてのあなたの満足度（○は1つ）

全体では「満足」38.9%、「やや満足」48.5%合わせて計 87.4%が満足と回答した。年齢別では10歳代、70歳代で、性別では女性で満足の割合がやや低いが、いずれも満足という回答の方が、「やや不満」「不満」という回答を大きく上回った。

地区別では東部、主利用市立図書館では吉祥寺図書館（東部地区の住民が多く利用する図書館）で、満足という回答の比率が比較的低い。これは、アンケート実施時期と吉祥寺図書館改修のための一時閉館の時期が重なったことが影響している可能性が想定される。とはいえ、8割程度が肯定的な意見であるため、全体的に非常に好意的であると評価できる。

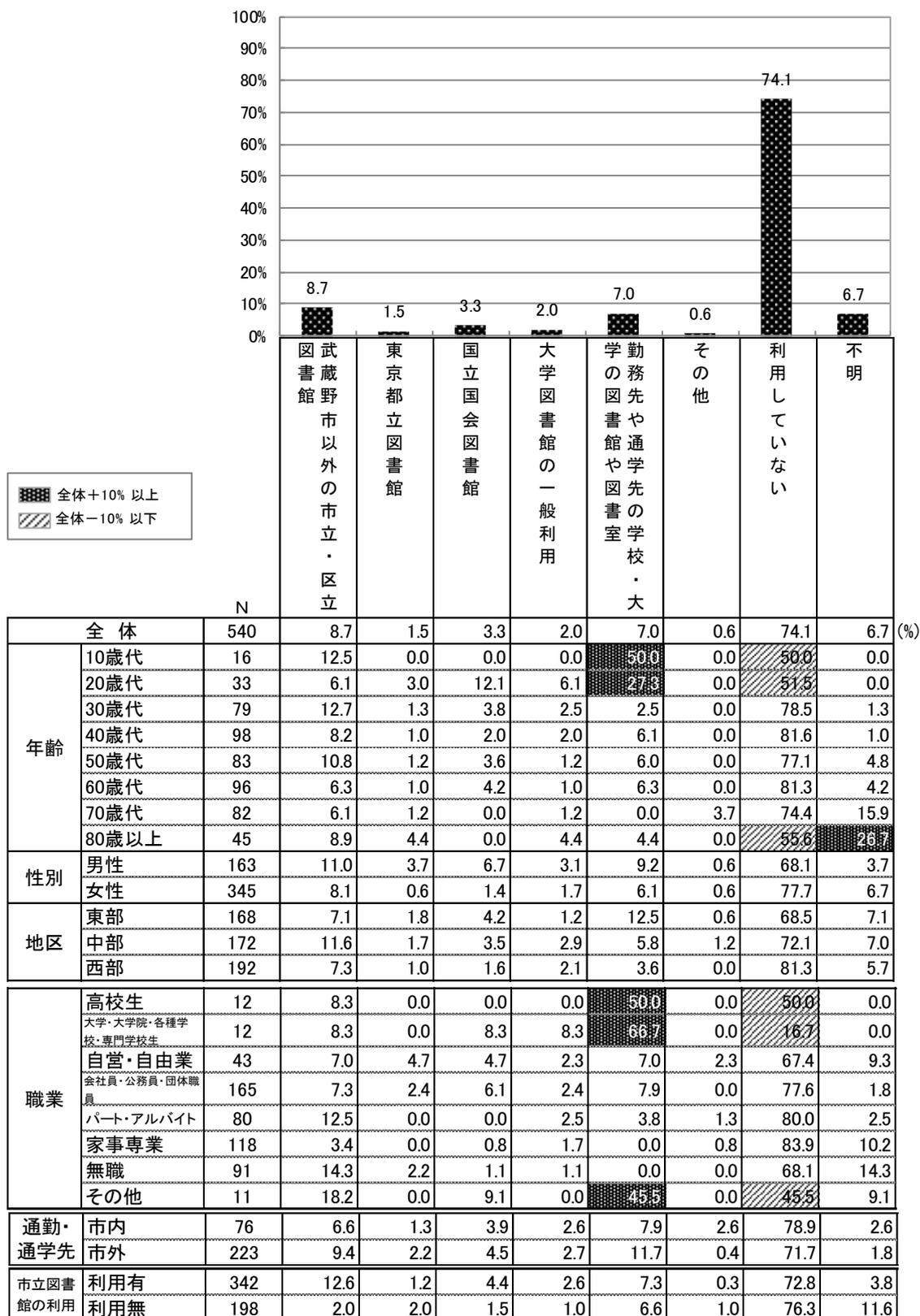


問 8

あなたが市立図書館以外で主に利用している図書館を教えてください。(○は2つまで。
「7. 利用していない」を選んだ場合は、他の選択肢に○をつけしないでください)

多いのは「武蔵野市以外の市立・区立図書館」の8.7%で、ついで「勤務先や通学先の学校・大学の図書館や図書室」の7.0%となった。

10歳代・20歳代、高校生、大学・大学院・各種学校・専門学校生では「勤務先や通学先の学校・大学の図書館や図書室」という回答が多く、若年層は滞在先の施設を選択していることから、比較的手軽に利用することを重視している傾向が見受けられた。

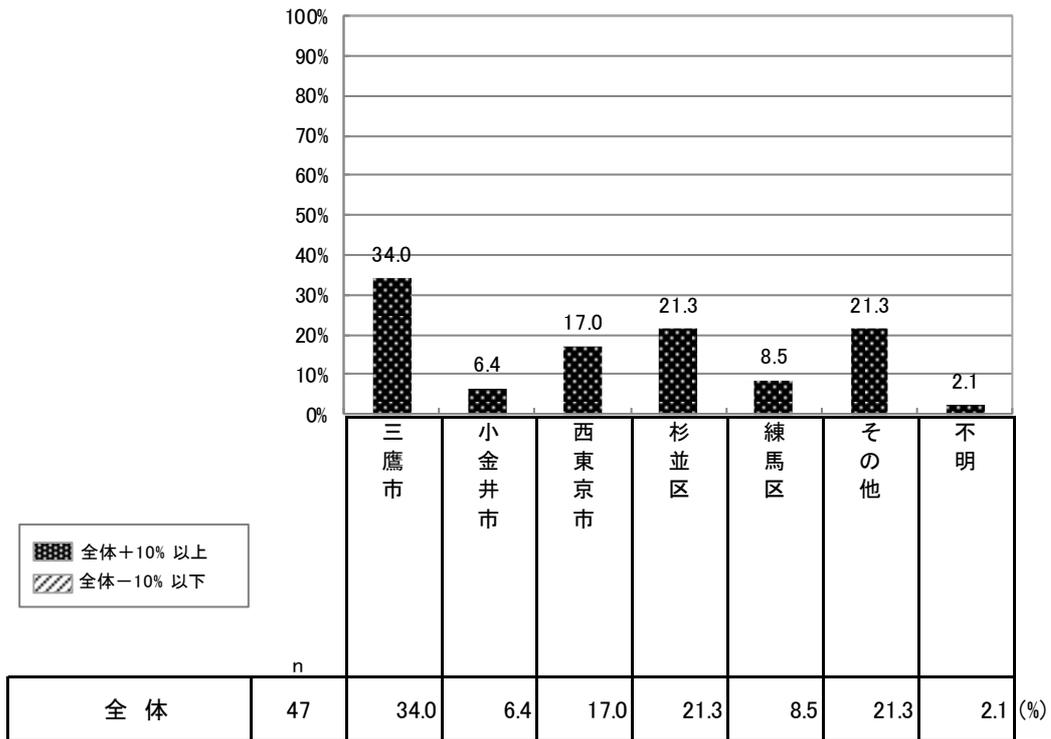


(問8で「1. 武蔵野市以外の市立・区立図書館」を選んだ方)

問 8-1

武蔵野市以外によく利用される市立・区立図書館の所在地をお答えください。
(○は2つまで)

「三鷹市」が 34.0%と多く、ついで「杉並区」の 21.3%、「西東京市」の 17.0%と続いたが、「その他」も「杉並区」と並んで同率2位であった。



2-4. 市立図書館のあり方について

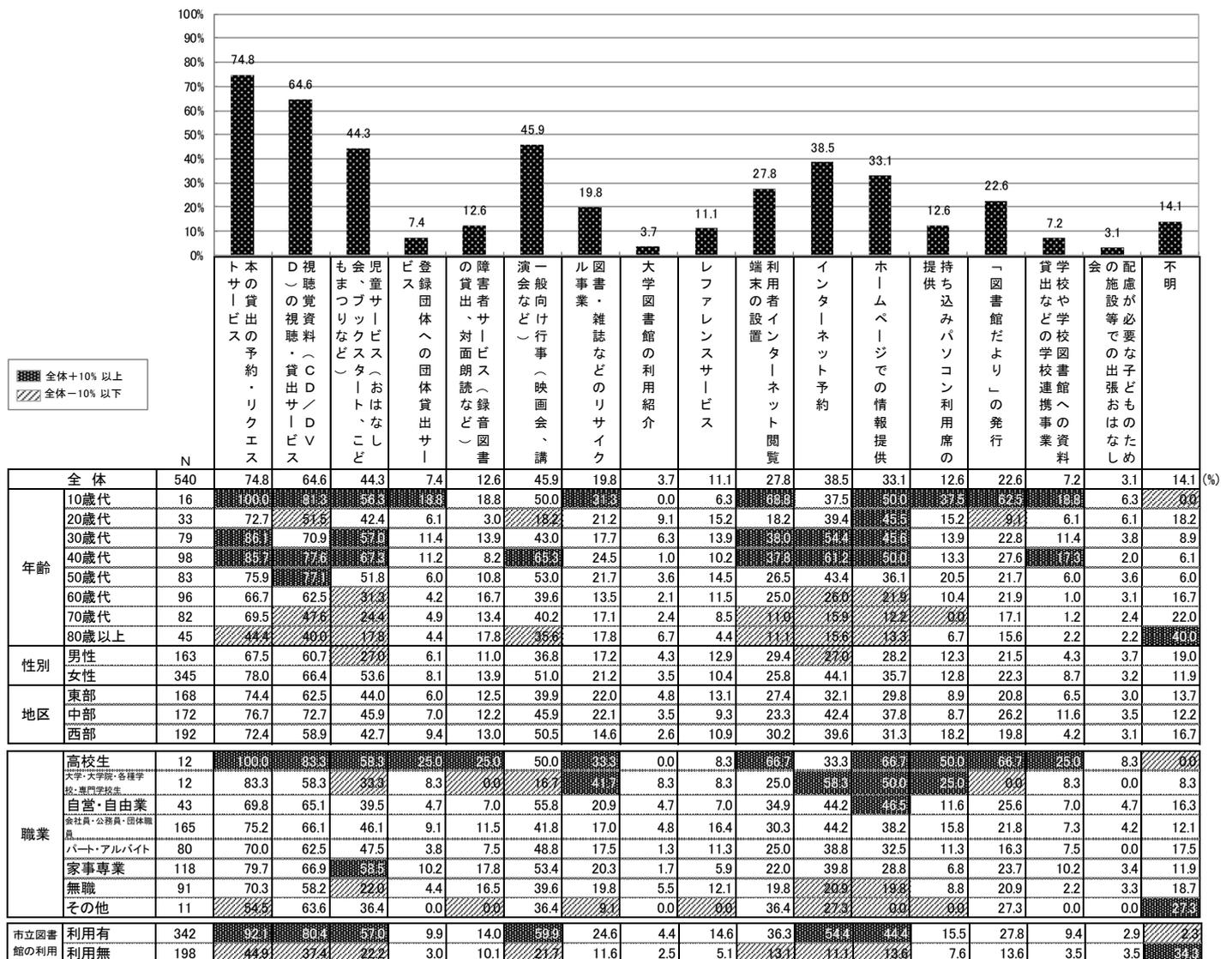
問9

武蔵野市の市立図書館では次のようなサービスを実施しています。このうちご存じのものをお答えください。(〇はいくつでも)

図書館が行っているサービスの認知度について、全体では「本の貸出の予約・リクエストサービス」が74.8%で最も多く、ついで「視聴覚資料の視聴・貸出サービス」の64.6%、「一般向け行事」の45.9%、「児童サービス」の44.3%と続いた。

団体貸出や障害者サービス、学校連携など、対象者が限定されるサービスは認知度が低いほか、レファレンスサービスの認知も進んでいなかった。「インターネット予約」「ホームページでの情報提供」等、ICTの活用分野においても認知度が4割弱であり、図書館情報システムへの投資効率からも、認知度の向上が必要である。

年齢別では40歳代以下、職業では高校生、市立図書館の利用層では全般的にサービスの認知が高かった一方、60歳代以上、無職、市立図書館の利用がない層ではサービス認知が低くなった。大学・大学院・各種学校・専門学校生では「図書・雑誌などのリサイクル事業」、「インターネット予約」、「ホームページでの情報提供」、「持ち込みパソコン利用席の提供」など、主にITに関わる部分で回答率が高くなっていた。

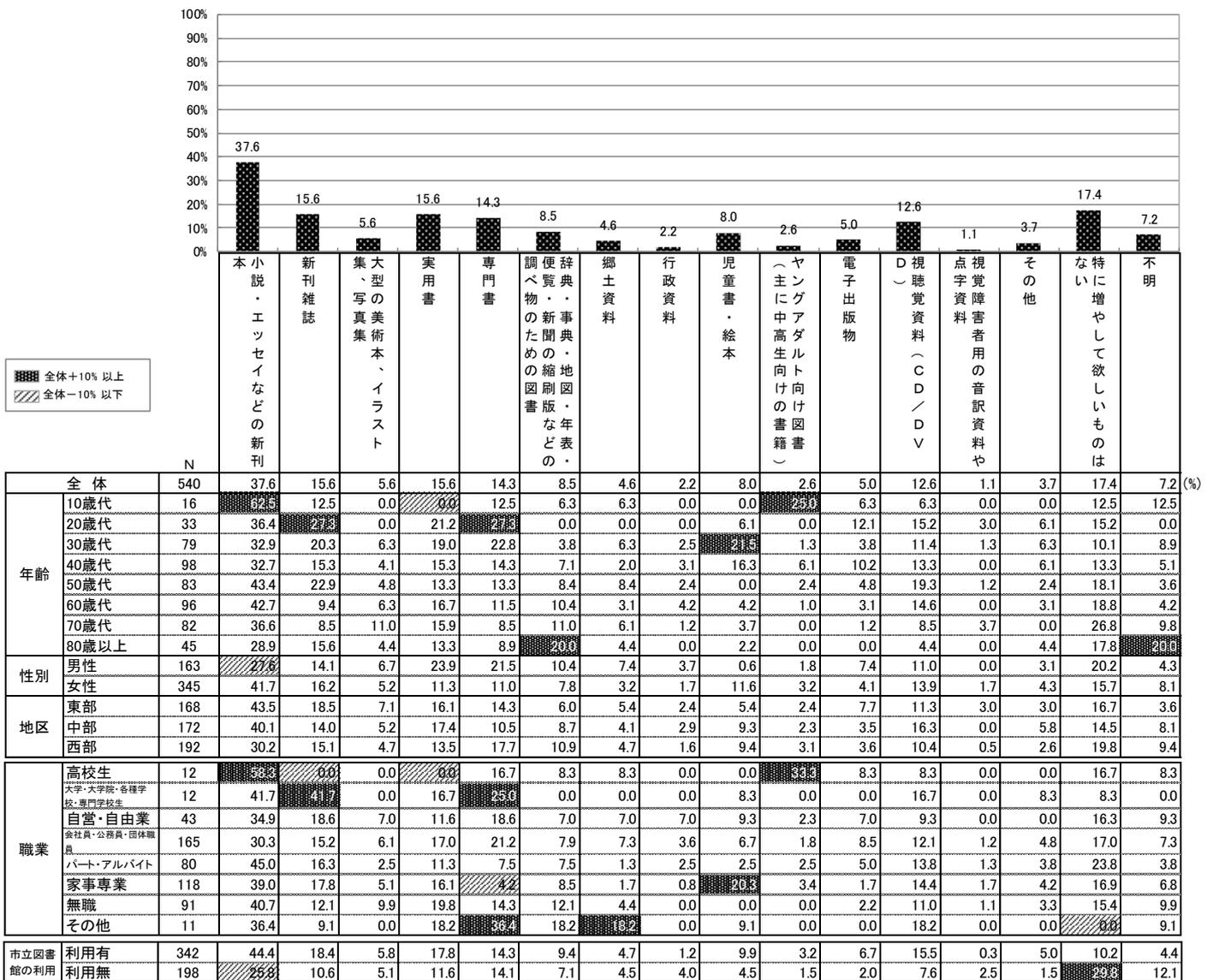


問 10

あなたが今後武蔵野市の市立図書館で特に充実させて欲しいと思う蔵書・資料をお知らせください。(○は2つまで。「15. 特に増やして欲しいものはない」を選んだ場合は、他の選択肢に○をつけしないでください)

全体では「小説・エッセイなどの新刊本」が37.6%と多く、ついで「特に増やして欲しいものはない」が17.4%だった。以下、「新刊雑誌」15.6%、「実用書」15.6%、「専門書」14.3%と差がないほか、「視聴覚資料」も12.6%と上位と差がなく続いており、一定のニーズが認められた。また、突出した1位となった「小説・エッセイなどの新刊本」から離れているが、「特に増やして欲しいものはない」が第2位となったことから、現状の蔵書に一定程度満足している層の存在も認められた。

年齢別・職業別では10歳代と高校生で「小説・エッセイなどの新刊本」、「ヤングアダルト向け図書」の回答が多く、20歳代と大学・大学院・各種学校・専門学校生で「新刊雑誌」、「専門書」、30歳代と家事専業で「児童書・絵本」、80歳以上で「辞典・事典・地図・年表・便覧・新聞の縮刷版などの調べ物のための図書」が多かった。

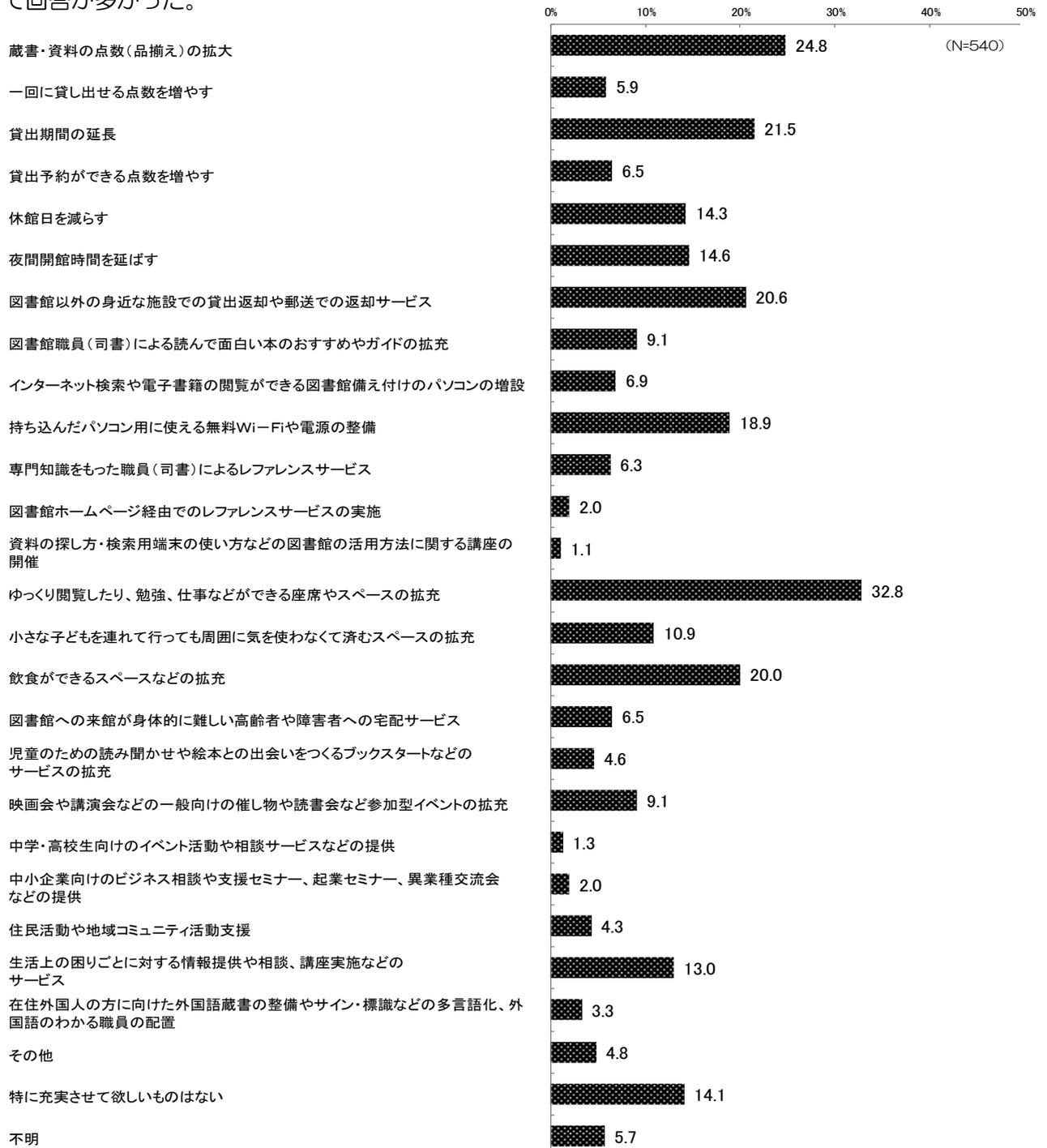


問 11

あなたが今後武蔵野市の市立図書館で充実させて欲しいと思うサービスをお知らせください。（○は5つまで。「26. 特に充実させて欲しいものはない」を選んだ場合は、他の選択肢に○をつけないでください）

全体では「ゆっくり閲覧したり、勉強、仕事などができる座席やスペースの拡充」が32.8%と滞在型の回答が多く、ついで「蔵書・資料の点数の拡大」24.8%、「貸出期間の延長」21.5%、「図書館以外の身近な施設での貸出返却や郵送での返却サービス」20.6%、「飲食ができるスペースなどの拡充」20.0%などと続いた。

年齢別・職業別では、10歳代、20歳代、高校生、大学・大学院・各種学校・専門学校生で「持ち込んだパソコン用に使えるWi-Fiや電源の整備」という回答が共通して多かった。また、「夜間開館時間を延ばす」と「飲食ができるスペースなどの拡充」は、10歳代、高校生、大学・大学院・各種学校・専門学校生で多くなっていた。一方、「小さな子どもを連れて行っても周囲に気を使わなくて済むスペースの拡充」については対象者が限られることから率としては相対的に低いが、30歳代で回答が多かった。



 全体+10%以上
 全体-10%以下

		N	蔵書・資料の点数（品揃え）の拡大	一回に貸し出せる点数を増やす	貸出期間の延長	貸出予約ができる点数を増やす	休館日を減らす	夜間開館時間を延ばす	図書館以外の身近な施設での貸出返却や郵送での返却サービス	図書館職員（司書）による読み面白さの拡大	インターネット検索や電子書籍の閲覧ができる図書館備え付けのパソコンの増設	i-Fiや電源の整備	持ち込んだパソコン用に見える無料WiFi	専門知識をもった職員（司書）によるレファレンスサービス	図書館ホームページ経由でのレファレンスサービスの実施	資料の探し方・検索用端末の使い方などの図書館の活用方法に関する講座の開催	ゆっくり閲覧したり、勉強、仕事などができる座席やスペースの拡充
全体		540	24.8	5.9	21.5	6.5	14.3	14.6	20.6	9.1	6.9	18.9	6.3	2.0	1.1	32.8	
年齢	10歳代	16	31.3	13.3	31.3	12.5	31.3	50.0	0.0	0.0	6.3	37.5	0.0	0.0	0.0	81.3	
	20歳代	33	27.3	9.1	15.2	15.2	0.0	12.1	27.3	12.1	15.2	33.3	3.0	0.0	0.0	33.3	
	30歳代	79	26.6	8.9	17.7	10.1	7.6	22.8	21.5	11.4	5.1	32.3	2.5	0.0	0.0	34.2	
	40歳代	98	25.5	4.1	19.4	10.2	12.2	21.4	22.7	10.2	4.1	25.5	6.1	1.0	1.0	45.9	
	50歳代	83	24.1	6.0	25.3	4.8	26.5	20.5	22.9	4.8	7.2	24.1	4.8	2.4	1.2	26.5	
	60歳代	96	29.2	4.2	19.8	2.1	14.6	7.3	17.7	10.4	9.4	7.3	10.4	6.3	2.1	24.0	
	70歳代	82	18.3	7.3	29.3	3.7	14.6	2.4	12.2	11.0	7.3	3.7	7.3	2.4	2.4	30.5	
	80歳以上	45	20.0	0.0	13.3	0.0	11.1	4.4	11.1	4.4	4.4	0.0	6.7	0.0	0.0	15.6	
性別	男性	163	29.4	4.3	14.7	0.6	17.8	15.3	12.9	8.6	7.4	20.9	3.7	3.7	0.6	29.4	
	女性	345	23.2	7.2	24.6	9.6	12.5	14.8	24.3	9.3	6.1	18.0	7.0	1.4	1.4	33.9	
地区	東部	168	25.0	6.5	20.8	6.5	17.3	21.4	26.2	7.7	4.8	21.4	7.1	3.0	0.6	32.1	
	中部	172	23.3	4.7	22.1	7.6	12.8	16.9	19.2	10.5	7.6	16.3	7.0	1.7	0.6	36.6	
	西部	192	26.0	6.8	20.8	5.2	13.0	7.3	16.7	8.9	8.3	17.7	4.2	1.6	2.1	29.7	
職業	高校生	12	25.0	8.3	41.7	8.3	25.0	41.7	0.0	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0	0.0	91.7	
	大学・大学院・各種学校・専門学校生	12	33.3	33.3	25.0	33.3	8.3	25.0	16.7	16.7	16.7	41.7	8.3	0.0	0.0	41.7	
	自営・自由業	43	27.9	0.0	18.6	7.0	18.6	14.0	27.9	4.7	7.0	30.2	4.7	2.3	2.3	32.6	
	会社員・公務員・団体職員	165	23.0	6.7	17.6	4.2	14.5	21.8	23.6	8.5	4.2	26.7	4.2	2.4	0.0	35.2	
	パート・アルバイト	80	16.3	8.8	22.5	7.5	12.5	13.8	23.8	8.8	16.3	16.3	6.3	2.5	2.5	35.0	
	家事専業	118	28.0	4.2	26.3	7.6	11.0	7.6	21.2	10.2	1.7	10.2	8.5	0.8	2.5	28.8	
	無職	91	26.4	3.3	18.7	3.3	16.5	7.7	12.1	12.1	8.8	4.4	6.6	2.2	0.0	20.9	
	その他	11	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	45.5	
市立図書館の利用	利用有	342	32.2	7.3	25.7	9.1	17.5	17.8	22.5	12.3	6.1	19.9	8.2	2.6	1.8	40.4	
	利用無	198	12.1	3.5	14.1	2.0	8.6	9.1	17.2	3.5	8.1	17.2	3.0	1.0	0.0	19.9	

 全体+10%以上
 全体-10%以下

		N	小さな子どもを連れて行っても周囲に気を使わなくて済むスペースの拡充	飲食ができるスペースなどの拡充	図書館への来館が身体的に難しい高齢者や障害者への宅配サービス	児童のための読み聞かせや絵本の出し会などの拡充	映画会や講演会などの一般向けの催し物や読書会など参加型イベントの拡充	談話サークルなどのイベント活動や相談	中小企業向けのビジネス相談や支援セミナー、起業セミナー、異業種交流会などの提供	住民活動や地域コミュニティ活動支援	生活上の困りごとに対する情報提供や相談、講座実施などのサービス	在住外国人の方に向けた外国語蔵書の整備やサイン・標識などの多言語化	その他	特に充実させて欲しいものはない	不明
全体		540	10.9	20.0	6.5	4.6	9.1	1.3	2.0	4.3	13.0	3.3	4.8	14.1	5.7
年齢	10歳代	16	0.0	4.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
	20歳代	33	12.1	27.3	0.0	12.1	6.1	0.0	0.0	0.0	15.2	3.0	9.1	15.2	3.0
	30歳代	79	31.6	35.4	5.1	11.4	7.6	0.0	3.8	2.5	7.6	1.3	3.8	7.6	5.1
	40歳代	98	18.4	18.4	4.1	6.1	12.2	5.1	3.1	1.0	8.2	7.1	5.1	6.1	2.0
	50歳代	83	3.6	22.9	6.0	0.0	9.6	1.2	4.8	9.6	14.5	2.4	6.0	10.8	2.4
	60歳代	96	5.2	12.5	12.5	3.1	9.4	0.0	1.0	6.3	20.8	2.1	5.2	21.9	3.1
	70歳代	82	2.4	14.6	3.7	3.7	7.3	0.0	0.0	6.1	17.1	2.4	2.4	18.3	11.0
	80歳以上	45	4.4	6.7	11.1	0.0	6.7	2.2	0.0	2.2	6.7	4.4	6.7	26.7	20.0
性別	男性	163	6.1	19.6	3.7	1.2	7.4	0.6	3.7	3.7	14.1	0.6	4.9	20.9	5.5
	女性	345	13.3	21.2	7.2	6.1	9.0	1.4	1.4	4.9	12.2	4.3	4.9	10.7	5.5
地区	東部	168	8.9	18.5	5.4	5.4	8.3	1.2	1.8	5.4	11.3	4.8	5.4	12.5	3.6
	中部	172	14.5	28.5	5.2	4.1	9.3	1.7	1.7	1.7	14.5	2.9	5.8	11.6	5.8
	西部	192	9.9	14.6	7.8	4.7	9.4	1.0	2.6	5.7	13.0	2.1	3.6	17.7	7.3
職業	高校生	12	0.0	4.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
	大学・大学院・各種学校・専門学校	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0
	自営・自由業	43	9.3	27.9	0.0	2.3	11.6	4.7	9.3	7.0	18.6	2.3	4.7	11.6	2.3
	会社員・公務員・団体職員	165	15.2	17.0	6.1	4.8	7.9	1.2	4.2	3.6	10.9	5.5	5.5	13.9	5.5
	パート・アルバイト	80	8.8	20.0	5.0	1.3	11.3	0.0	0.0	1.3	12.5	2.5	2.5	18.8	2.5
	家事専業	118	16.9	22.0	7.6	9.3	8.5	1.7	0.0	7.6	9.3	1.7	5.9	11.0	7.6
	無職	91	2.2	14.3	11.0	1.1	7.7	1.1	0.0	2.2	19.8	1.1	2.2	18.7	9.9
	その他	11	9.1	36.4	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	27.3	9.1	0.0
市立図書館の利用	利用有	342	13.2	25.1	7.6	5.3	11.7	1.8	2.6	4.4	13.2	3.5	4.7	6.4	2.3
	利用無	198	7.1	11.1	4.5	3.5	4.5	0.5	1.0	4.0	12.6	3.0	5.1	27.3	11.6

武蔵野市立図書館で認知しているサービス（問9）の回答との関係では、認知しているサービス内容と充実させて欲しいサービス内容との間に強い関係はみられない。ただし、「大学図書館の利用紹介」、「配慮が必要な子どものための出張おはなし会」といった認知率が低いサービスを認知している回答者では、充実させて欲しいサービスも多くなる傾向がみられる（図書館を積極的に利用している層では、サービスへの要望も多くなるものと考えられる）。

		N	蔵書・資料の点数（品揃え）の拡大	一回に貸し出せる点数を増やす	貸出期間の延長	貸出予約ができる点数を増やす	休館日を減らす	夜間開館時間を延ばす	図書館以外の身近な施設での貸出返却や郵送での返却サービス	図書館職員（司書）による読み本のおすすめやガイドの拡充	増設	インターネット検索や電子書籍の閲覧ができる図書館備え付けのパソコンの増設	持ち込んだパソコン用に見える無料WiFiや電源の整備	専門知識をもった職員（司書）によるレファレンスサービス	図書館ホームページ経由でのレファレンスサービスの実施	資料の探し方・検索用端末の使い方の開催	資料の探し方・検索用端末の使い方などの図書館の活用方法に関する講座の開催	ゆっくり閲覧したり、勉強、仕事などができる座席やスペースの拡充
全体		540	24.8	5.9	21.5	6.5	14.3	14.6	20.6	9.1	6.9	18.9	6.3	2.0	1.1	32.8		
武蔵野市立図書館で認知しているサービス	本の貸出の予約・リクエストサービス	404	30.4	5.9	24.5	8.4	16.8	17.3	22.5	10.1	6.4	21.3	7.7	2.2	1.5	37.9		
	視聴覚資料の視聴・貸出サービス	349	29.5	7.4	23.8	8.3	17.8	18.3	22.1	9.7	8.3	20.9	7.7	2.3	1.7	40.1		
	児童サービス（おはなし会、ブックスタート、こどもまつりなど）	239	27.6	5.9	24.3	8.8	15.5	18.0	27.2	11.3	5.0	21.3	6.3	1.3	1.3	38.9		
	登録団体への団体貸出サービス	40	27.5	5.0	22.5	7.5	20.0	12.5	25.0	7.5	5.0	27.5	10.0	0.0	7.5	32.5		
	障害者サービス（録音図書、対面朗読など）	68	35.3	2.9	26.5	10.3	13.2	17.6	19.1	13.2	2.9	16.2	16.2	1.5	4.4	32.4		
	一般向け行事（映画会、講演会など）	248	32.3	6.0	27.0	9.3	18.5	16.5	22.6	12.1	6.0	18.1	8.9	1.6	2.0	37.1		
	図書・雑誌などのリサイクル事業	107	26.2	9.3	27.1	9.3	15.0	18.7	21.5	13.1	3.7	22.4	12.1	0.9	1.9	36.4		
	大学図書館の利用紹介	20	35.0	5.0	35.0	15.0	25.0	10.0	25.0	10.0	15.0	25.0	20.0	5.0	0.0	45.0		
	レファレンスサービス	60	41.7	5.0	21.7	8.3	20.0	20.0	26.7	10.0	5.0	21.7	15.0	5.0	1.7	45.0		
	利用者インターネット閲覧端末の設置	150	34.0	6.0	28.0	12.0	16.0	19.3	26.7	10.7	6.0	27.3	7.3	2.7	1.3	44.7		
	インターネット予約	208	35.6	7.2	26.4	13.9	17.8	19.2	26.4	12.0	6.7	26.0	6.7	1.9	1.0	41.8		
	ホームページでの情報提供	179	34.6	6.1	23.5	12.8	17.9	19.6	25.1	13.4	7.3	26.8	8.9	2.2	0.6	39.1		
	持ち込みパソコン利用席の提供	68	27.9	4.4	19.1	11.8	11.8	17.6	17.6	13.2	10.3	35.3	7.4	1.5	0.0	41.2		
	「図書館だより」の発行	122	31.1	6.6	27.0	7.4	16.4	20.5	20.5	9.8	4.9	22.1	7.4	2.5	0.8	39.3		
	資料貸出などの学校連携事業	39	40.3	2.6	25.6	5.1	17.9	17.9	17.9	5.1	5.1	30.3	10.3	0.0	5.1	43.6		
配慮が必要な子どものための出張おはなし会	17	23.5	5.9	35.3	5.9	17.6	11.8	17.6	5.9	0.0	35.3	5.9	0.0	0.0	35.3			

 全体+10%以上
 全体-10%以下

		N	小さな子どもを連れて行っても周囲に気を使わなくて済むスペースの拡充	飲食ができるスペースなどの拡充	図書館への来館が身体的に難しい高齢者や障害者への宅配サービス	図書館の読書のための読み聞かせや絵本などの出	児童のための読み聞かせや絵本などの出	映画会や講演会などの一般向けの催し	物や読書会など参加型イベントの催し	談話・高校生向けのイベント活動や相談サービスなどの提供	中小企業向けのビジネス相談や支援セミナー、起業セミナー、異業種交流会などの提供	住民活動や地域コミュニティ活動支援	生活上の困りごとに対する情報提供や相談、講座実施などのサービス	在住外国人の方に向けた外国語蔵書の整備やサイン・標識などの多言語化、外国語のわかる職員の配置	その他	特に充実させて欲しいものはない	不明
武蔵野市立図書館で認知しているサービス		540	10.9	20.0	6.5	4.6	9.1	1.3	2.0	4.3	13.0	3.3	4.8	14.1	5.7	(%)	
	本の貸出の予約・リクエストサービス	404	12.1	21.5	7.4	4.5	10.4	1.5	2.0	5.0	11.9	3.7	5.4	8.9	2.0		
	視聴覚資料の視聴・貸出サービス	349	10.9	22.9	8.0	4.0	12.0	1.7	2.3	4.9	10.6	4.3	5.7	9.5	2.3		
	児童サービス(おはなし会、ブックスタート、こどもまつりなど)	239	20.5	25.5	7.9	7.5	9.6	2.1	2.1	4.6	9.2	5.9	5.4	8.8	1.7		
	登録団体への団体貸出サービス	40	15.0	12.5	10.0	7.5	12.5	0.0	7.5	10.0	7.5	12.5	10.0	10.0	0.0		
	障害者サービス(録音図書、対面朗読など)	68	10.3	14.7	13.2	2.9	10.3	1.5	1.5	7.4	7.4	10.3	5.9	11.8	1.5		
	一般向け行事(映画会、講演会など)	248	12.1	22.2	8.1	4.8	13.3	2.0	2.8	5.2	11.7	4.0	6.0	9.3	2.0		
	図書・雑誌などのリサイクル事業	107	12.1	25.2	7.5	0.9	12.1	1.9	1.9	6.5	7.5	6.5	4.7	8.4	1.9		
	大学図書館の利用紹介	20	15.0	10.0	15.0	0.0	15.0	5.0	5.0	10.0	5.0	15.0	5.0	15.0	0.0		
	レファレンスサービス	60	10.0	15.0	10.0	1.7	10.0	0.0	1.7	5.0	13.3	11.7	6.7	6.7	0.0		
	利用者インターネット閲覧端末の設置	150	8.0	20.7	6.0	4.0	12.0	1.3	3.3	6.0	7.3	4.7	4.7	11.3	2.0		
	インターネット予約	208	14.4	23.1	7.7	5.8	10.1	2.4	3.4	5.3	11.1	4.8	7.2	5.3	1.0		
	ホームページでの情報提供	179	14.0	22.3	7.3	5.6	11.7	1.7	2.8	5.6	9.5	6.1	6.7	8.4	1.7		
	持ち込みパソコン利用席の提供	68	11.8	25.0	13.2	7.4	17.6	1.5	5.9	10.3	10.3	5.9	7.4	10.3	2.9		
	「図書館だより」の発行	122	13.9	23.8	10.7	3.3	13.1	0.8	3.3	8.2	12.3	6.6	4.1	9.0	2.5		
資料貸出などの学校連携事業	39	23.1	25.6	2.6	2.6	12.8	5.1	2.6	2.6	7.7	7.7	5.1	10.3	0.0			
配慮が必要な子どものための出張おはなし会	17	23.5	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0	11.8	11.8	23.5	17.6	5.9	17.6	0.0			

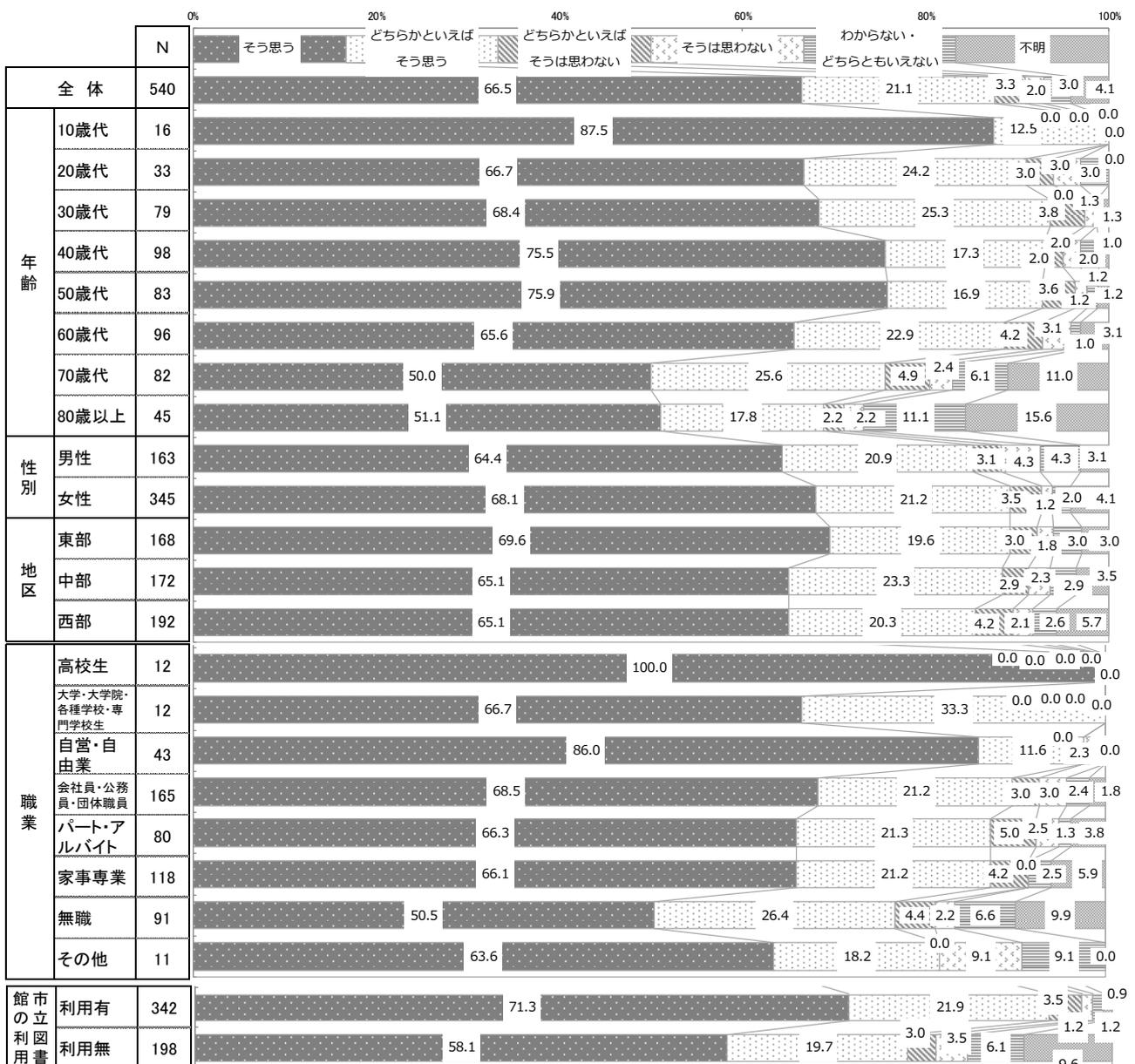
問 12

あなたは今後武蔵野市の図書館はどんな方向に進むべきだと思いますか。下記のそれぞれの考え方についてあなたのご意見を教えてください。(○はそれぞれ1つ)

A. 本を借りたり、くつろいで本を読んだりすることができる、本好きのための居場所

全体では「そう思う」66.5%、「どちらかといえばそう思う」21.1%と肯定的回答が多かった。年齢・属性別では10歳代、高校生、自営業・自由業で「そう思う」が高かった。ヘビーユーザー層の多い高齢層よりも、10歳代がかなり高い数値を示したことは特徴的である。また、70歳代から「そう思う」の選択が大きく落ちていた。

性別及び地区別には有意な差はみられなかった。職業別では高校生が100%「そう思う」を選択したのに対し、無職がそれとは反対の傾向を示したことも特徴的である。

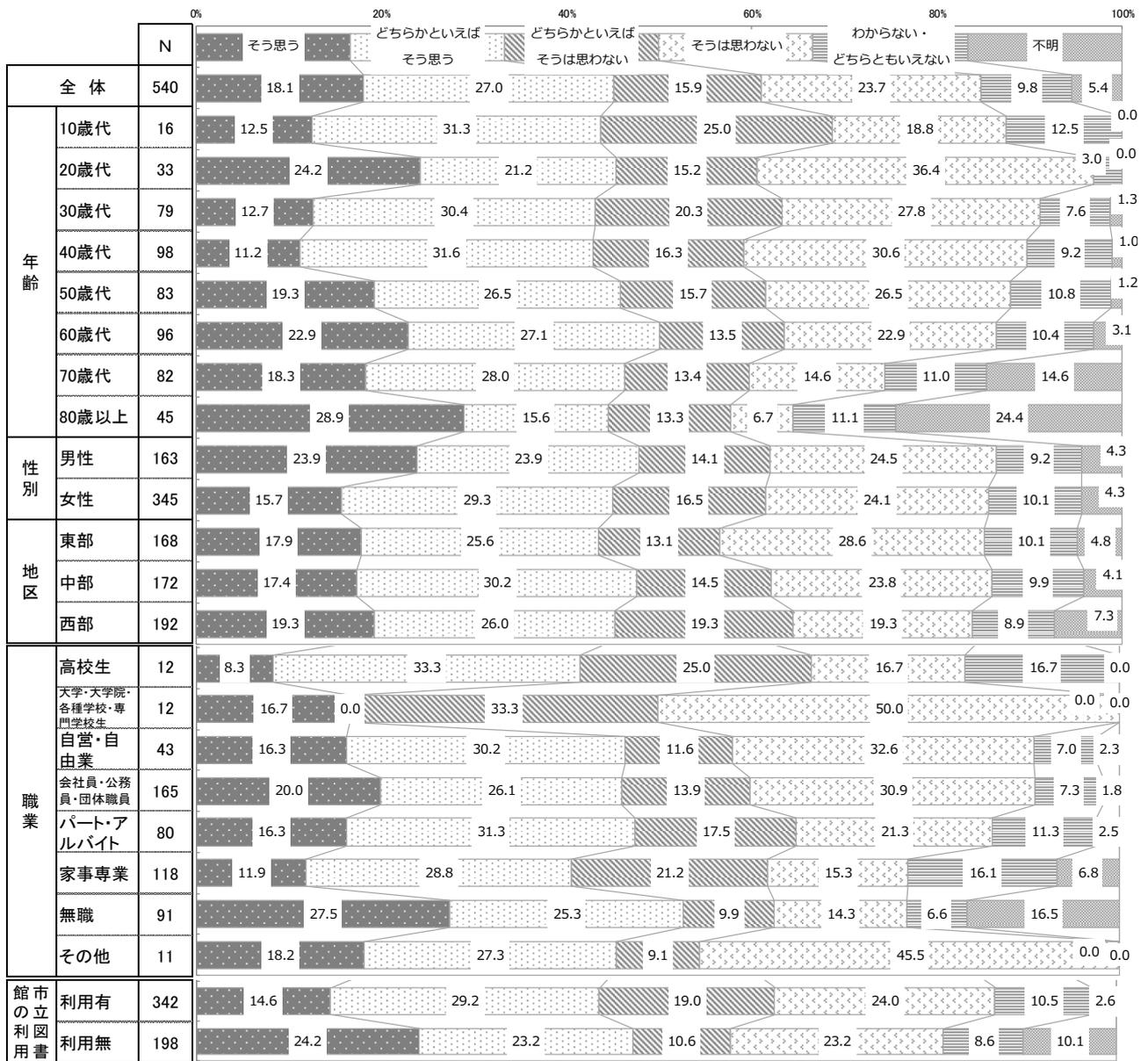


B. 暮らしの中で困ったこと、相談したいことがあった時、必要な情報や相談先を教えてくれる問題解決の場所

全体では「そう思う」18.1%、「どちらかといえばそう思う」27.0%（計45.1%）となっており、「どちらからといえばそうは思わない」15.9%、「そうは思わない」23.7%の計39.6%よりは多いものの、肯定的回答の比率としては半数を下回った。年代別では60歳代以外はすべて否定的回答であった。

職業別では、大学・大学院・各種学校・専門学校生で、「どちらかといえばそうは思わない」33.3%、「そうは思わない」50.0%と計83.3%が否定的であった。

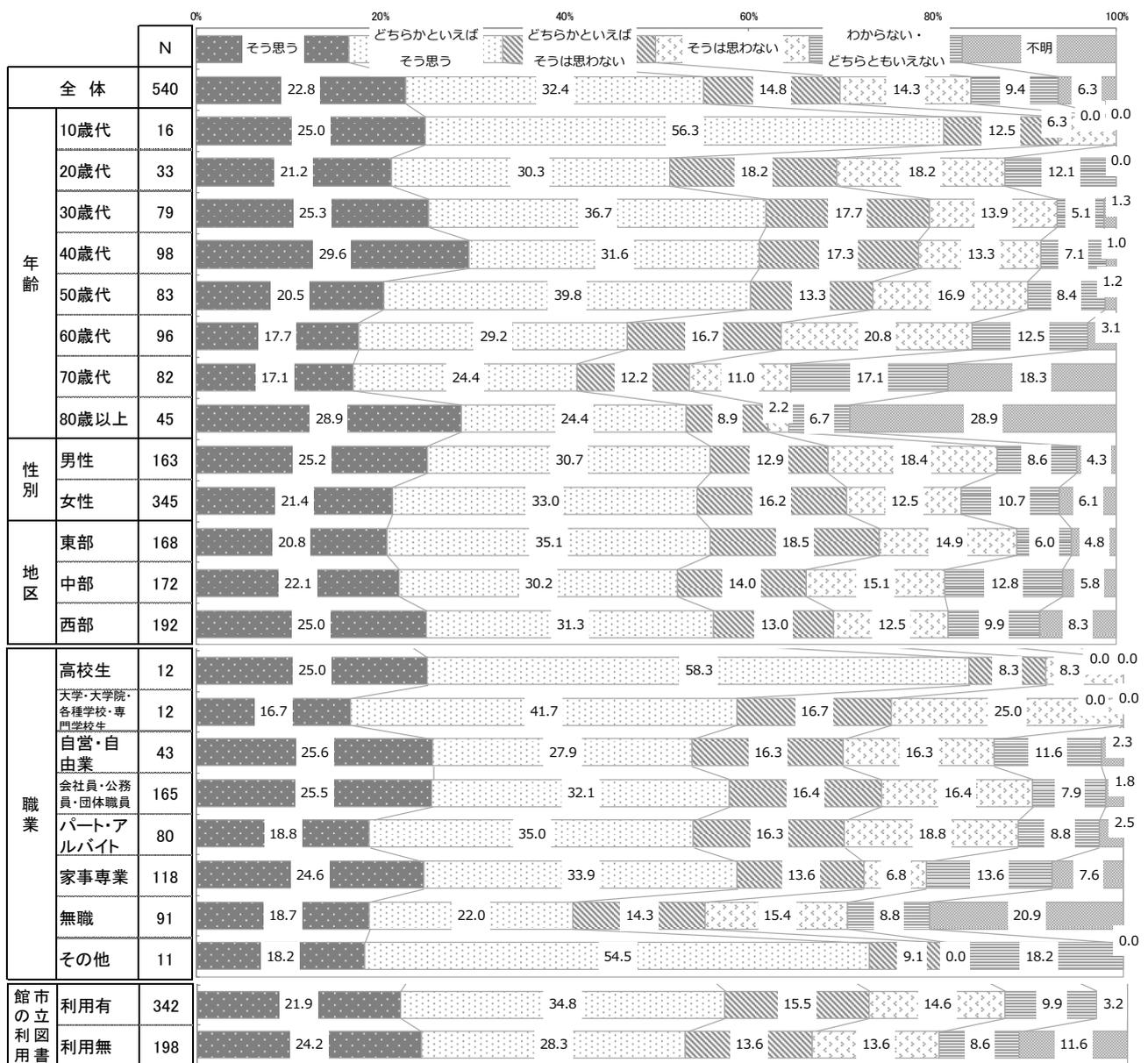
性別及び地区別には有意な差はみられなかった。



C. 地域活動や各種の市民活動の拠点として、また中学生や高校生が学校外で集まれる場所として地域の核になるような施設

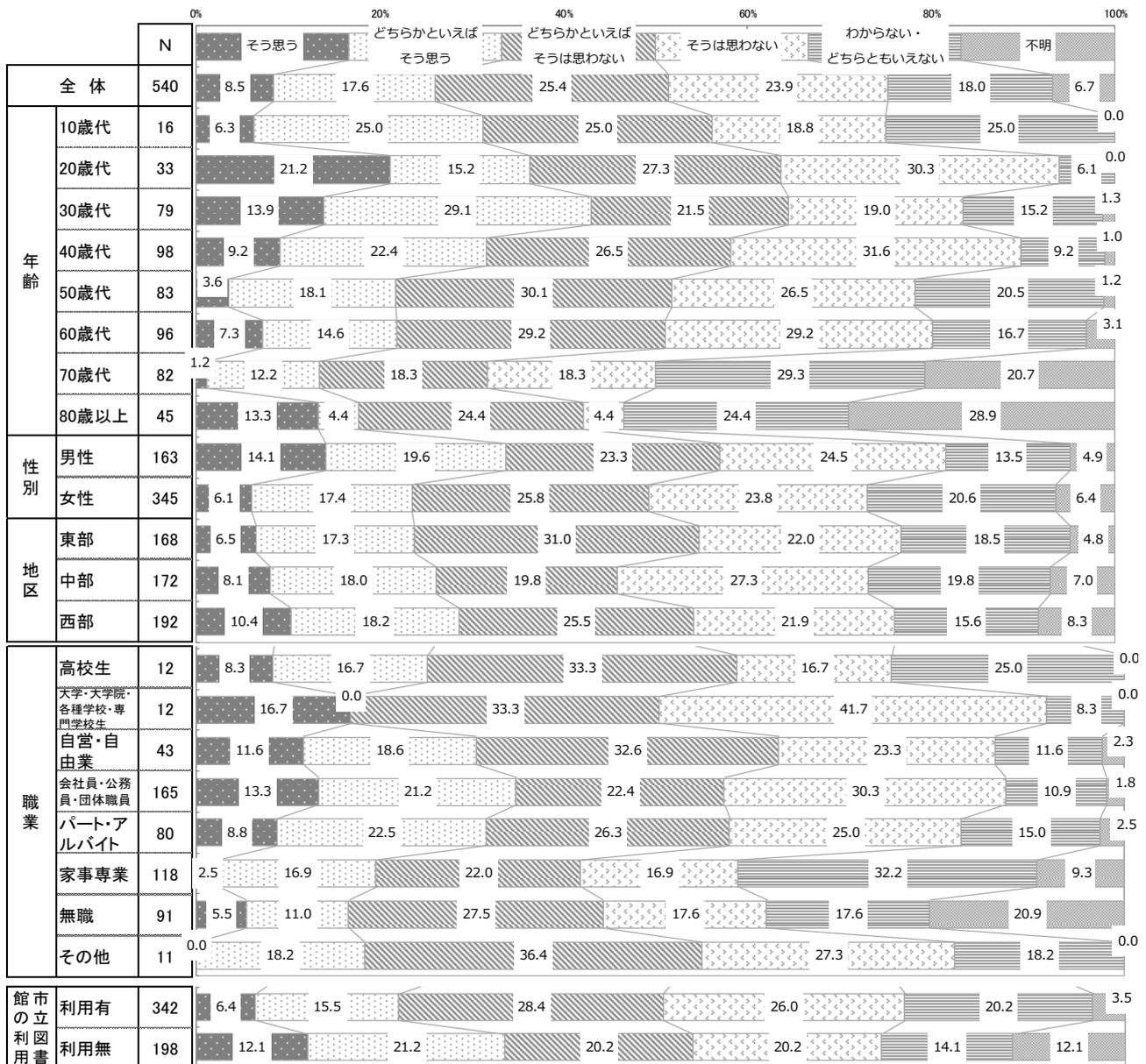
全体では「そう思う」22.8%、「どちらかといえばそう思う」32.4%、計55.2%と半分以上が肯定的である。「B. 問題解決の場所」への回答に比べ肯定的意見が多く、60歳代、70歳代以外はすべて肯定的回答が半数超であったことが特徴的で、従来「図書館が担ってきた役割を超えたニーズ」を示していることを示している。年齢・属性別で「どちらかといえば」を含めた肯定的意見の比率をみると、10歳代、高校生で割合が高く、70歳代、無職で割合が低くなっている。

性別及び地区別には有意な差は見られなかった。



D. 起業をしたり、キャリアアップをしたり、職場の問題や経営改善をしたりする時に情報支援を受けられたり、相談ができるビジネス支援の機関

全体では「そう思う」8.5%、「どちらかといえばそう思う」17.6%と肯定的意見は26.1%に止まり、「どちらかといえばそうは思わない」25.4%、「そうは思わない」23.9%の否定的意見49.3%を大きく下回った。年齢別で「どちらかといえば」を含めた肯定的意見の比率をみると、30歳代でのみ肯定的意見の割合が、していない人の割合を上回っていたが、その他の年齢層では全て否定的意見が上回る結果となった。性別、地区別では有意な差はみられず、職業別では、自営・自由業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイトで肯定的意見の割合がやや全体より多かったものの、家事専業、無職、その他では、否定的意見が大勢を占めた。

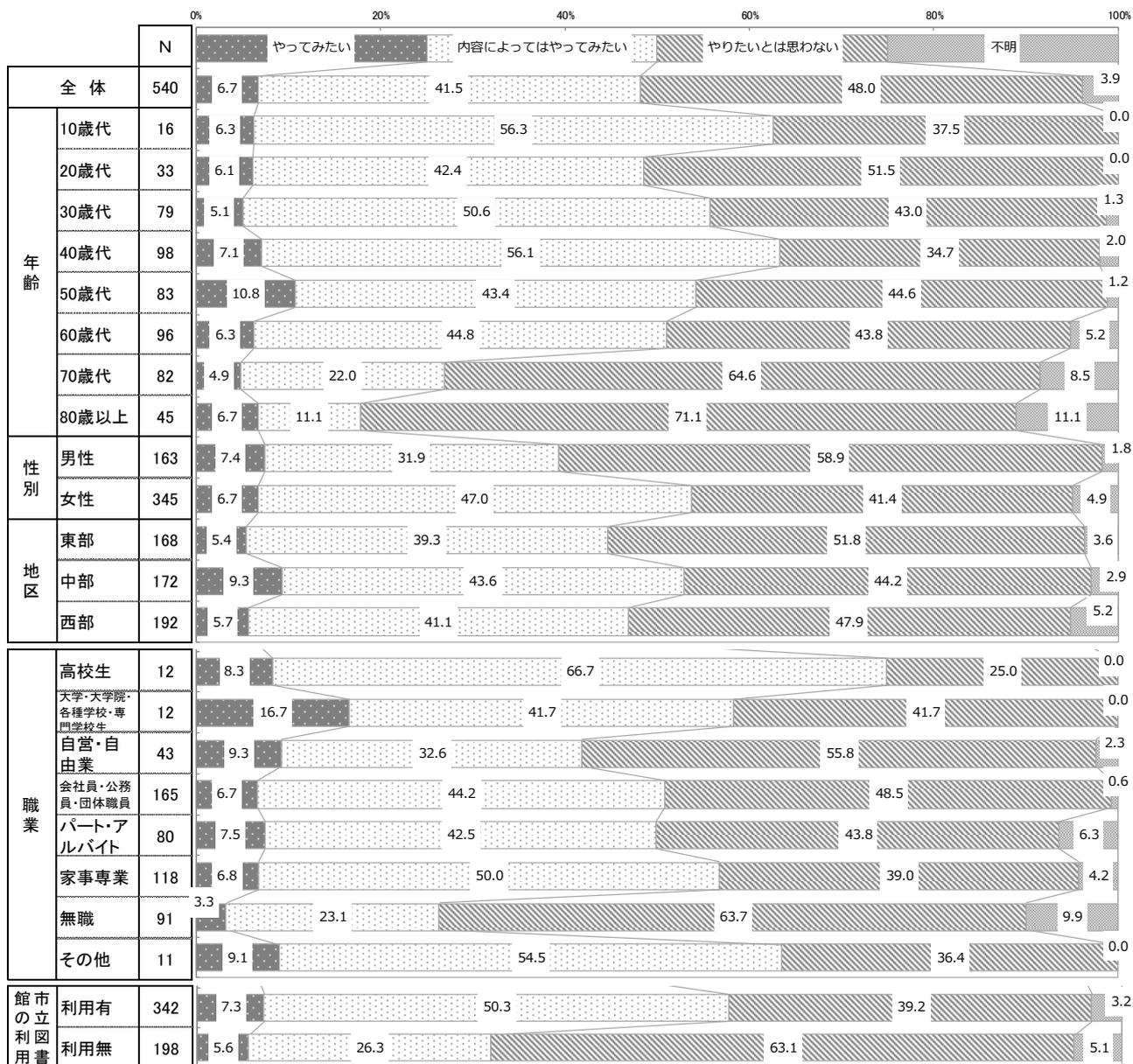


問 13

あなたは図書館でのボランティア活動をやってみたいと思いますか。(○は1つ)

全体では「やってみたい」6.7%、「内容によってはやってみたい」41.5%とやってみたいが合わせて48.2%になっており、「やりたいとは思わない」の48.0%とほぼ拮抗していた。

年齢別では、70歳代以上で、「やりたいとは思わない」という比率が急激に上昇していた。性別では、男性より女性の方がやってみたいという人が多かった。職業別では、高校生を筆頭に、大学・大学院・各種学校・専門学校生でやってみたいという人が多く、無職では少なかった。また、図書館利用者では、「やってみたい」7.3%、「内容によってはやってみたい」50.3%と過半がボランティアへの意向を示していたものの、それほど大きな値ではなかった。



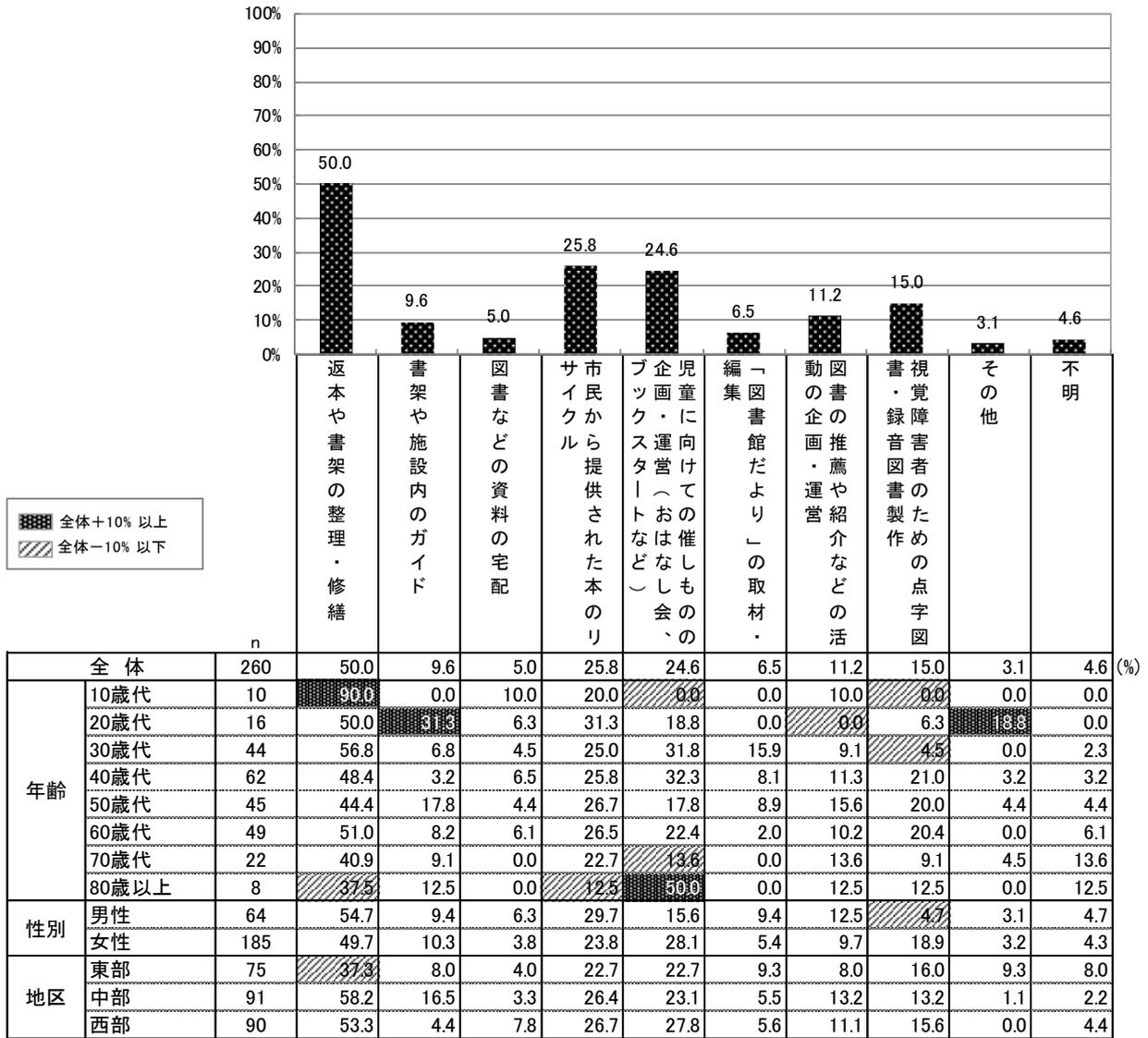
(問 13 で「1. やってみたい」、「2. 内容によってはやってみたい」を選んだ方)

問 13-1 あなたがやってみたいと思うボランティア活動の内容を教えてください。
(○は2つまで)

全体では「返本や書架の整理・修繕」が 50.0%と最も多く、ついで「市民から提供された本のリサイクル」25.8%、「児童に向けての催しものの企画・運営」24.6%と続いた。

年齢別では、10 歳代で「返本や書架の整理・修繕」が、20 歳代で「書架や施設内のガイド」が多かった。

性別では「児童に向けての催しものの企画・運営」について、女性が男性の倍程度の比率があった。



蔵書の拡充や、サービスや運営への具体的な改善要望が多く、ついで、スペースの拡充（特に座れる席数の拡大）や子ども向けのサービスへの要望が並ぶ結果となった。

また、図書館事業そのものについての意見が多くみられたことも特徴だった。特に、ICTの活用が一般的となった時代において、図書館はどうあるべきかという視点からの意見が多くみられた。一方、多機能連携については、2件ほど否定的な意見がみられた一方で、複合施設化の成功例である武蔵野プレイスを評価する意見も多数挙げられており、今後の方向性の一つとして市民より一定の評価を得ていることが分かった。

回答者数	回答内容
23	蔵書拡大についての要望 全体として点数を増やして欲しい（3件）、新刊貸出中が多いので冊数を増やして欲しい（3件）の他は、具体的なジャンルの拡充要望となっている。武蔵野プレイスでの視聴覚資料（2件）、新しい辞書・事典、新書、日経新聞、法務・税務関係、科学書、専門書（特に地方で出版されているもの）、ビジネス書、心理学、郷土資料、「福音と世界」、ヤングアダルト書など。
19	サービス・運営の改善についての要望 貸出/返却の機械やウェブサイトの使い勝手（検索など）についての細かな要望が7件と最も多く、後は個別の要望となっている（運営方法を3館で共通化して欲しい、連続して貸出できるようにして欲しい、雑誌の貸出はやめて欲しい、閉架書架の資料を受け取るのに時間がかかる、学習室の予約制度を改善して欲しい、パソコンエリアの制限が厳しすぎる、匂いが気になる、セキュリティが気になる等）。
15	ゆったりと過ごせるスペースや席への要望 座って読める席やスペースが少ないという声が多い。1件だけだが、畳や寝っ転がれるフロアなどについての要望もあった。
12	子ども向けサービスへの要望 子ども向けイベント3件、育児スペースや託児サービス4件、子ども向けの配架や展示のあり方などへの要望3件、ティーン向けスペース拡充2件、その他子ども向けサービスのメールマガジンでの告知など。
10	図書館の今後についての意見 インターネット普及を前提に図書館の位置付けを考え直すべき、書籍資料の保全という本来の役割に集中すべき、インターネット社会における情報弱者への対応を行うべきなど、インターネットとの関係性で図書館のあり方を問う意見が多くみられた。また、市民交流的な機能については、否定的な声が1件、うまくバランスをとって拡充すべきという意見が1件みられた。
9	武蔵野プレイスへの評価 市民として自慢ができる施設、中央図書館や吉祥寺図書館も同じようにして欲しい、など。
8	利用日・利用時間拡大への要望 金曜日休館はやめて欲しい、平日を午後9時まで延長できないか、休日の午後5時は早すぎるなど。
8	利用者モラルへの要望 本やCD・DVDが傷つけられている、うるさくしている人がいる、予約時間を守らない、席や駐輪場を長時間占拠しているなど。
6	電子書籍導入への要望 導入して欲しいという声に加え、業者選定を慎重にして欲しい、利用者が集中しがちなタイトルから導入して欲しいなどの具体的な要望もあり。
6	分館設置への要望 現在立地できていない地域への立地（東部、御殿山、三鷹駅前）希望に加え、他市や他の先進国に比べて人口当たりの立地数が少ない、移動図書館を導入すればいいのではないかと具体的な要望あり。
5	貸出・返却の出張所への要望 芸能劇場、中央市政センター、アトシ、三鷹駅北口、吉祥寺駅、武蔵境駅などで要望あり。
5	吉祥寺図書館リニューアルへの要望 現状、閲覧や勉強のスペースがあまりに小さいため、リニューアルに伴いスペースを拡充すべきという意見が中心となっている。
5	PRやプロモーション拡大への要望 情報が届いていないのもっと情報発信や入館しやすい環境づくりをすべきという声が多い。

回答者数	回答内容
4	飲食スペース・カフェへの要望 新設・拡充希望 2 件、騒音や匂いを押さえて欲しい 2 件。
4	スタッフ対応へのクレーム 司書 2 件（司書業務に慣れていない人がいる、レファレンス能力が低い人がいる）、延滞への電話注意の物言いがあまりにきつい、吉祥寺図書館の駐輪場整理のスタッフの態度が悪い。
4	他市の図書館のようにして欲しい/して欲しくない 武雄市のようにして欲しい 1 件、武雄市のようにはなってほしくない 2 件、岐阜メディアコスモスのようにして欲しい 1 件。
3	ユニバーサル対応への要望 多目的トイレの設置拡大、対面朗読の資格規制の廃止要望、自閉症児への対応要望。
3	本の状態への要望 本、絵本、紙芝居を綺麗な状態にして欲しいという意見（やすりで端を削る、カバーがべたべたするので張り替えるなど）。
3	ホームレス等へのクレーム ホームレスの臭いが気になる、福祉と連携して移動をお願いすべきなど。
3	特定の利用者が占有していることへのクレーム 新聞を高齢者が占有している 2 件、武蔵野ブレイスは若者ばかりで入りにくい 1 件。
3	市立図書館以外への利用要望 他の市区立図書館も利用したい 2 件、市内の大学図書館を利用したい 1 件。
2	市民利用優遇への希望 市内在住者を優遇すべき、本や席の予約は市民からにすべきなど。
2	一般イベント拡大への希望 高齢者イベント 1 件、ドキュメンタリー映画上映会 1 件。
2	中央図書館の交通の便が悪い
2	吉祥寺図書館の周辺環境が悪い
2	駐車場・駐輪場が狭い

3. 調査票

■ この調査票に回答される方についてお伺いします。

(1) 年齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳以上
(2) 性別	ご記入ください ()
(3) 居住地	1. 吉祥寺東町 2. 吉祥寺南町 3. 御殿山 4. 吉祥寺本町 5. 吉祥寺北町 6. 中町 7. 西久保 8. 緑町 9. 八幡町 10. 関前 11. 境 12. 境南町 13. 桜堤
(4) 居住年数	※市外に転出したことがある場合は、市内に居住していた年数の合計でお答えください。市内で転居した場合も合算してください。 1. 1 年未満 2. 1 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上
(5) 職業	1. 高校生 2. 大学・大学院・各種学校・専門学校生 3. 自営・自由業 4. 会社員・公務員・団体職員 5. パート・アルバイト 6. 家事専業 7. 無職 8. その他 ()

((5) で「1～5」の選択肢を選んだ方のみ)

(5-1) 通勤・通学地	1. 武蔵野市内 2. 東京 23 区内 3. 武蔵野市と 23 区を除く東京都内 4. 東京都外
--------------	--



問 4 あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している(携帯端末を含む)
2. 利用していない →問5へ

(下記問 4-1 は、問 4 で「1」の選択肢を選んだ方のみご記入ください)

問 4-1 あなたが主にインターネットを利用している機器の種類をお知らせください。
(○は2つまで)

1. パソコン
2. タブレット端末
3. スマートフォン
4. スマートフォン以外の携帯電話(フィーチャーフォン)
5. ゲーム機器
6. その他()

問 5 あなたは電子書籍を利用されていますか。(○は1つ)

※ここでいう電子書籍とは、紙の本やマンガ、雑誌などを電子化したものを指しています。新聞の電子版やウェブマガジンなどは入らないのでご注意ください。

1. 有料で購入したことがある
2. 有料購入はないが、無料で閲覧したことはある
3. 購入・閲覧したことはないが、興味は持っている
4. 購入・閲覧したことはなく、今のところ興味も持っていない

問 6 図書館で電子書籍の貸出が始まったら利用したいですか。(○は1つ)

1. 利用したい
2. 方式や品揃えによっては利用したい
3. 利用しない →問7へ

(下記問 6-1、問 6-2 は、問 6 で「1、2」の選択肢を選んだ方のみご記入ください)

問 6-1 電子書籍はどのような媒体で利用したいですか。(○は2つまで)

1. 自宅のパソコン
2. タブレット端末
3. スマートフォン
4. その他()

問 6-2

どのようなジャンルの電子書籍があれば利用したいですか。(○はいくつでも)

1. 予約が多くなかなか借りられない小説
2. 実用書
3. 郷土資料や古い資料など貸出ができない資料
4. その他 ()

■ 図書館の利用状況についてお伺いします。

問 7

あなたは過去 1 年間に武蔵野市立図書館（中央図書館、吉祥寺図書館、武蔵野プレイスのいずれか）を利用したことがありますか。(○は 1 つ)

1. 利用した →問 7-2～問 7-7 へ
2. 利用しなかった →問 7-1 へ

(下記問 7-1 は、問 7 で「2」の選択肢を選んだ方のみご記入ください)

問 7-1

市立図書館を過去 1 年間利用しなかった主な理由は何ですか。(○は 2 つまで)

1. 職場や学校の図書館や近隣の他区市図書館を利用しているから
2. 本や雑誌は購入して読んでいるから
3. 本や雑誌をあまり読まないから
4. 図書館への交通が不便だから
5. 図書館を利用する時間がないから
6. 図書館の開館日・開館時間が自分の都合に合わないから
7. 利用したい本や雑誌、資料が図書館にないから
8. 子どもを連れて行きにくいから
9. 読みたい本が貸出中になっていることが多いから
10. 本を返すのが面倒だから
11. 利用したいサービスや興味のある催し物がないから
12. その他 ()

※この質問に回答された方は、問 8 にお進みください。

(下記問 7-2～問 7-7 は、問 7 で「1」の選択肢を選んだ方のみ、市立図書館の利用について、あてはまるものにそれぞれ○をつけてください)

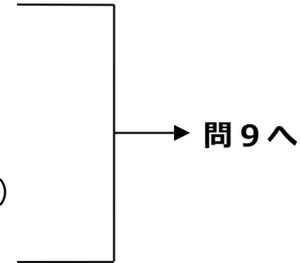
問 7-2	もっともよく利用する市立図書館 (○は1つ)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 中央図書館 2. 吉祥寺図書館 3. 武蔵野プレイス
問 7-3	利用の目的 (○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 本・雑誌・視聴覚資料 (CD/DVD) を借りるため 2. 本・雑誌・新聞を読んだり、視聴覚資料 (CD/DVD) を視聴するため 3. 仕事や活動のための調べ物をするため 4. 勉強をするため 5. 子どもと一緒に本を読むため 6. 講座・イベントに参加するため 7. その他 ()
問 7-4	利用する頻度 (○は1つ)	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日 2. 週に1~2回くらい 3. 2週間に1回くらい 4. 1ヶ月に1回くらい 5. 年に数回くらい
問 7-5	よく利用する曜日 (○は1つ)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 主に平日 2. 主に週末・休日 3. 曜日関係なくほぼ毎日 4. 特に決まっていない
問 7-6	よく利用する時間帯 (○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 午前中 (午前9時30分~12時) 2. 午後 (12時~午後5時) 3. 夕方・夜 (午後5時~8時) 4. 夜 (午後8時~10時) 5. 終日 6. 特に決まっていない
問 7-7	市立図書館についてのあなたの満足度 (○は1つ)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

(ここからは全ての方がお答えください)

問 8

あなたが市立図書館以外で主に利用している図書館を教えてください。(○は2つまで。
「7. 利用していない」を選んだ場合は、他の選択肢に○をつけないでください)

1. 武蔵野市以外の市立・区立図書館 →問 8-1 へ
2. 東京都立図書館
3. 国立国会図書館
4. 大学図書館の一般利用
5. 勤務先や通学先の学校・大学の図書館や図書室
6. その他 ()
7. 利用していない



(下記問 8-1 は、問 8 で「1」の選択肢を選んだ方のみご記入ください)

問 8-1

武蔵野市以外によく利用される市立・区立図書館の所在地をお答えください。
(○は2つまで)

1. 三鷹市
2. 小金井市
3. 西東京市
4. 杉並区
5. 練馬区
6. その他 (区・市)

■ 武蔵野市の市立図書館のあり方についてお伺いします。

問 9

武蔵野市の市立図書館では次のようなサービスを実施しています。このうちご存じのものをお答えください。(○はいくつでも)

1. 本の貸出の予約・リクエストサービス※¹
2. 視聴覚資料 (CD/DVD) の視聴・貸出サービス
3. 児童サービス (おはなし会、ブックスタート、こどもまつりなど)
4. 登録団体への団体貸出サービス※²
5. 障害者サービス (録音図書の貸出、対面朗読など)
6. 一般向け行事 (映画会、講演会など)
7. 図書・雑誌などのリサイクル事業
8. 大学図書館の利用紹介
9. レファレンスサービス※³
10. 利用者インターネット閲覧端末の設置
11. インターネット予約
12. ホームページでの情報提供
13. 持ち込みパソコン利用席の提供

(→次ページに続きがあります)

14. 「図書館だより」の発行
15. 学校や学校図書館への資料貸出などの学校連携事業
16. 配慮が必要な子どものための施設等での出張おはなし会

※1 予約・リクエストサービス

利用者から要望のあった書籍や雑誌・資料が貸出中や市内他館在庫の場合は「予約」として、所蔵していない場合は、「リクエスト」として受け付けています。

※2 団体貸出サービス

個人利用者への貸出だけでなく、学校、官公庁、地域団体への貸出も行っています。一般図書とは別に所蔵している団体貸出用図書を1団体あたり300冊を限度に2ヶ月間の貸出を行っています。

※3 レファレンスサービス

資料の検索や調べ方のサポートのほか、利用者の調査、研究についての相談を受けて、図書館職員が図書館資料等を利用して援助するサービスです。Eメールでの受付も行っています。

問 10

あなたが今後武蔵野市の市立図書館で特に充実させて欲しいと思う蔵書・資料をお知らせください。（○は2つまで。「15. 特に増やして欲しいものはない」を選んだ場合は、他の選択肢に○をつけないでください）

1. 小説・エッセイなどの新刊本
2. 新刊雑誌
3. 大型の美術本、イラスト集、写真集
4. 実用書
5. 専門書
6. 辞典・事典・地図・年表・便覧・新聞の縮刷版などの調べ物のための図書
7. 郷土資料
8. 行政資料
9. 児童書・絵本
10. ヤングアダルト向け図書（主に中高生向けの書籍）
11. 電子出版物
12. 視聴覚資料（CD/DVD）
13. 視覚障害者用の音訳資料や点字資料
14. その他（）
15. 特に増やして欲しいものはない

問 11

あなたが今後武蔵野市の市立図書館で充実させて欲しいと思うサービスをお知らせください。（○は5つまで。「26. 特に充実させて欲しいものはない」を選んだ場合は、他の選択肢に○をつけないでください）

1. 蔵書・資料の点数（品揃え）の拡大
2. 一回に貸し出せる点数を増やす（現在、図書・雑誌は10点、CD/DVDは各2点まで）
3. 貸出期間の延長（現在は2週間）
4. 貸出予約ができる点数を増やす（現在は8点まで。ただしCD/DVDはうち2点まで）
5. 休館日を減らす
6. 夜間開館時間を延ばす（現在は中央図書館、吉祥寺図書館で平日午後8時、休日午後5時まで。武蔵野プレイスは平日、休日とも午後10時まで）
7. 図書館以外の身近な施設での貸出返却や郵送での返却サービス
8. 図書館職員（司書）による読んで面白い本のおすすめやガイドの拡充
9. インターネット検索や電子書籍の閲覧ができる図書館備え付けのパソコンの増設
10. 持ち込んだパソコン用に使える無料Wi-Fiや電源の整備
11. 専門知識をもった職員（司書）によるレファレンスサービス（書籍や資料を調べる、相談ごとに対して参考になる資料を提供するなど）
12. 図書館ホームページ経由でのレファレンスサービスの実施
13. 資料の探し方・検索用端末の使い方などの図書館の活用方法に関する講座の開催
14. ゆっくり閲覧したり、勉強、仕事などができる座席やスペースの拡充
15. 小さな子どもを連れて行っても周囲に気を使わなくて済むスペースの拡充
16. 飲食ができるスペースなどの拡充
17. 図書館への来館が身体的に難しい高齢者や障害者への宅配サービス
18. 児童のための読み聞かせや絵本との出会いをつくるブックスタートなどのサービスの拡充
19. 映画会や講演会などの一般向けの催し物や読書会など参加型イベントの拡充
20. 中学・高校生向けのイベント活動や相談サービスなどの提供
21. 中小企業向けのビジネス相談や支援セミナー、起業セミナー、異業種交流会などの提供
22. 住民活動や地域コミュニティ活動支援（会議室などの提供や情報提供、コミュニティ活動のコーディネートなど）
23. 税金、相続、労務や差別、身近な法律トラブル、冠婚葬祭、健康・医療他の生活上の困りごとに対する情報提供や相談、講座実施などのサービス
24. 日本語を母国語としない在住外国人の方に向けた外国語蔵書の整備やサイン・標識などの多言語化、外国語のわかる職員の配置
25. その他（）
26. 特に充実させて欲しいものはない

問 12

あなたは今後武蔵野市の図書館はどんな方向に進むべきだと思いますか。下記のそれぞれの考え方についてあなたのご意見を教えてください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い・どち らともい えない
A. 本を借りたり、くつろいで本を読んだりすることができる、本好きのための居場所	1	2	3	4	5
B. 暮らしの中で困ったこと、相談したいことがあった時、必要な情報や相談先を教えてくれる問題解決の場所	1	2	3	4	5
C. 地域活動や各種の市民活動の拠点として、また中学生や高校生が学校外で集まれる場所として地域の核になるような施設	1	2	3	4	5
D. 起業をしたり、キャリアアップをしたり、職場の問題や経営改善をしたりする時に情報支援を受けられたり、相談ができるビジネス支援の機関	1	2	3	4	5

問 13

あなたは図書館でのボランティア活動をやってみたいと思いますか。(○は1つ)

1. やってみたい
2. 内容によってはやってみたい
3. やりたいとは思わない

→問 14 へ

(下記問 13-1 は、問 13 で「1、2」の選択肢を選んだ方のみご記入ください)

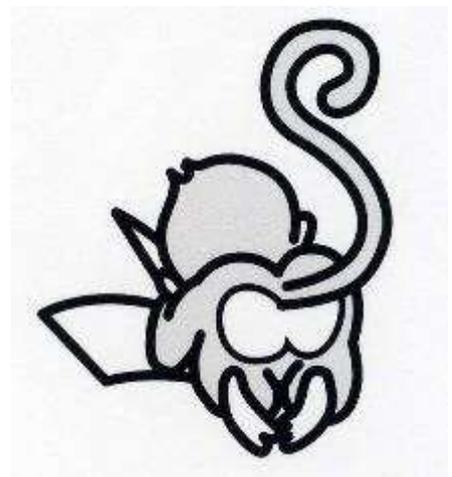
問 13-1

あなたがやってみたいと思うボランティア活動の内容を教えてください。
(○は2つまで)

1. 返本や書架の整理・修繕
2. 書架や施設内のガイド
3. 図書などの資料の宅配
4. 市民から提供された本のリサイクル
5. 児童に向けての催しものの企画・運営 (おはなし会、ブックスタートなど)
6. 「図書館だより」の取材・編集
7. 図書の推薦や紹介などの活動の企画・運営
8. 視覚障害者のための点字図書・録音図書製作
9. その他 ()

問 14

その他武蔵野市の図書館について、ご意見ご要望などありましたら自由にお書きください。



**武蔵野市生涯学習施策（図書館）に関する
アンケート調査報告書**

平成 30 年 2 月

発行：武蔵野市教育委員会
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28
電話：0422-51-5131

中央図書館
〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町 4-8-3
電話：0422-51-5145